USB2.0

T.sonic™ 820

ユーザーマニュアル

Transcend

Exceeding Your Expectations

目次

はじめに

トランセンドの **T.sonic™ 820** をご購入いただき誠にありがとうございます。この高機能 MP3 プレーヤーは音楽、動画(.mtv)*1、画像(.jpg、.bmp)の再生に対応しています。USB フラッシュドライブに FM ラジオ、デジタルボイスレコーダー、ライン入力録音、歌詞表示機能、A-B リピート機能、再生速度調節機能が搭載された MP3 プレーヤーは、電子ブックの表示も可能で、高速データ転送の Hi-speed USB 2.0 仕様にも対応しています。トラックの指定セクションを繰り返し再生することができる A-B リピート機能と再生速度調節機能は、語学学習ツールとして大変便利です。また、録音機能も充実しており、ボイスメモを作成できるデジタルボイスレコーダーと CD プレーヤーや外付けマイクからのライン入力録音がご利用いただけます。スタイリッシュなトランセンドの **T.sonic™ 820** はデジタルライフに最適です。

パッケージ内容

T.sonic™ 820 パッケージには以下が同梱されています。

- T.sonic™ 820



- イヤホン



- ソフトウェア CD



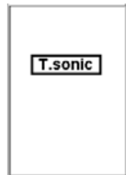
- USB ケーブル(ミニ USB 端子-USB 端子)



- ライン入力録音ケーブル



- クイック操作ガイド



特色

- 画像や動画を表示する 1.5 インチ(128 x 128 ピクセル)カラー有機 EL ディスプレイ
- 音楽、動画(.mtv)*[1]、画像(.jpg、.bmp)*[2] ファイルに対応
- MP3/WMA/WMA-DRM10/WAV フォーマットに対応の音楽プレーヤー
- FM ラジオ(FM ラジオの録音が可能、9 局が設定可能)
- デジタルボイスレコーダー
- 電子ブック(.txt)の表示に対応
- 歌詞表示機能(Winamp 等の歌詞入力に対応したソフトウェアが別途必要)
- ライン入力機能搭載(外付けマイクや CD プレーヤー等のライン入力接続から直接録音が可能)
- 録音品質を高める VAD (Voice Activation Detection)機能
- プレイリストビルダー
- トラックの指定セクションを繰り返し再生できる A-B リピート機能
- トラック再生速度調節機能
- 楽曲/アーティスト名を 13 ヶ国語で表示対応
- USB フラッシュドライブとしてデータ転送/ストレージが可能
- PC ロックやデータのパスワード保護機能が利用なソフトウェアを付属(Windows のみ対応)
- カスタマイズ可能なユーザーEQ を含む 7 種類のイコライザーモード
- 充電式リチウムイオンバッテリーによる電源供給(フル充電で最大 15 時間の連続再生が可能)
- コンピュータとの接続と高速データ転送を行う Hi-Speed ミニ USB ポート
- ローカルと対応する世界各国の現在時刻(RTC)を表示
- 特定時間(15/30/60 分)のアイドリングで起動するスリープモード
- 数秒間のアイドリングで起動し、バッテリーを節約するオートスクリーンセーバー機能搭載

システム動作環境

USB ポート搭載のデスクトップまたはノートブックコンピュータ

以下のオペレーションシステムのうちいずれか

- Windows® Me
- Windows® 2000
- Windows® XP
- Mac™ OS 10.0 以降
- Linux™ Kernel 2.4 以降

*[1] 動画は MTV フォーマットのみに対応しています。MTV フォーマットに変換するための付属ソフト「トランセンドマルチメディアコンバーター」は Windows 2000/XP のみ対応です。変換可能な動画フォーマットは**.MPEG4**、**.DivX**、**.AVI**、**.xVID** となっております。

※ 一部変換不能なファイルもございます。

*[2] 付属ソフト「スライドショーメーカー」は Windows 2000/XP のみ対応です。

ご使用する前に

以下の安全のガイドラインにしたがってご使用ください。



T.sonic™ 820 は USB ケーブル(ミニ USB 端子-USB 端子)を使用してコンピュータに接続します。各端子が正しく接続されているか確認してください。

通常の使用

- **T.sonic™**のパッケージの開封は注意して行ってください。
- 水や他の液体が **T.sonic™**にかからないようにしてください。
- 湿った/濡れた布で本体ケースを拭かないでください。
- 下記の場所では **T.sonic™**を使用したり、保管したりしないでください。
  - 直射日光の当たる場所
  - エアコン、ヒーターや熱源をもつ機器の近く
  - 直射日光の当たる車の車内

データのバックアップ

- トランセンドはデータ損失や損傷には一切の責任を負いません。
  定期的にコンピュータやストレージメディアに **T.sonic™**のバックアップをとることをお勧めします。
- **T.sonic™**で高速データ転送を利用するには、コンピュータの USB ドライバが Hi-Speed USB 2.0 仕様に対応している必要があります。USB ドライバの情報についてはご使用のコンピュータ、またはマザーボードのマニュアルを参照ください。

警告: 聴覚障害のリスク

1. 習慣的にヘッドホンやイヤホンを使用し、80 デシベル以上で音楽を聴いていると大きな音でも音量が充分ではないという誤った感覚になることがあります。音量を徐々にコントロールし、耳へのダメージ、リスクを減らしてください。
2. 聴覚を守るために MP3 プレーヤーの音量を 80 デシベル以下にして、長時間のご使用は避けてください。頭痛、吐き気、聴覚障害などの症状が現れた場合はご使用をやめてください。
3. MP3 プレーヤーの音量は 100 デシベルまでに制限されています。
4. MP3 プレーヤーとイヤホンはウォークマン用のフランス規格に準拠しています。(1998 年 7 月 24 日規定)
5. ヘッドホンを使用する場合は、仕様が付属のイヤホンと同等であるかを確認してください。

注意事項

1. 電源をオンにする前にはロックスイッチが解除されているか確認してください。
2. Windows®の"クイックフォーマット"や"フルフォーマット"で **T.sonic™**をフォーマットしないでください。
3. **T.sonic™**の正しい取り外し方の手順に従って **T.sonic™**をコンピュータから取り外してください。

製品概要



A	マイク
B	イヤホンジャック
C	ネックストラップ用取付け穴
D	ライン入力ポート
E	**Hi-Speed** ミニ **USB 2.0** ポート
F	ロックスイッチ
G	音量アップボタン
H	録音ボタン
I	戻る**-**巻戻しボタン
J	電源ボタン
K	リセットスイッチ
L	音量ダウンボタン
M	ナビゲーションボタン
N	進む**-**早送りボタン
O	メニューボタン
P	再生**/**一時停止ボタン
Q	カラー有機 **EL** ディスプレイ

有機 EL ディスプレイ表示

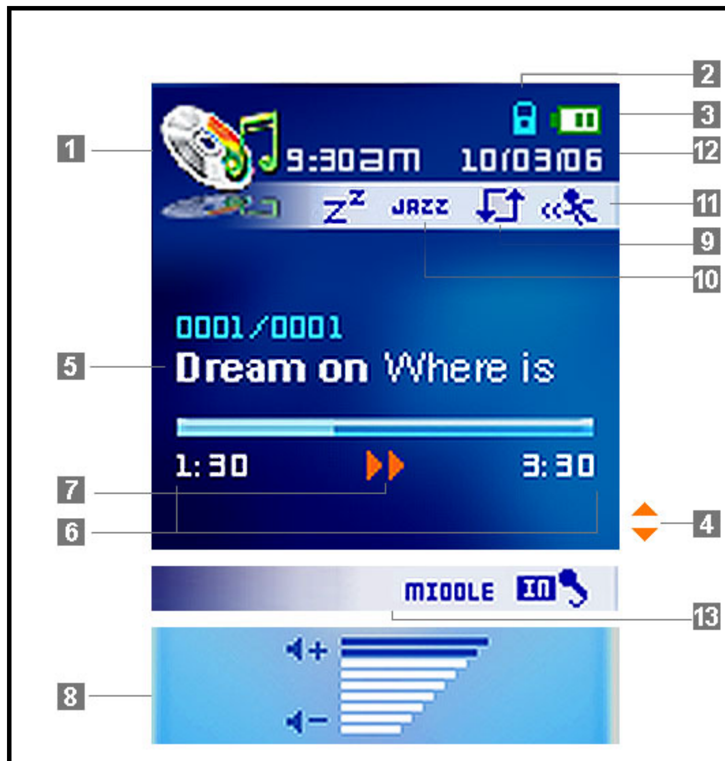


図 1. 有機 EL ディスプレイ表示

	アイコン	表示
1	プレイモード	プレイモード(音楽、FM ラジオ、録音、動画、画像、電子ブック)を表示します。
2	ロック	ロック機能の使用時に表示されます。
3	バッテリー残量	バッテリー残量を表示します。
4	スクロールバー	ファイルの全長と表示位置を表示します。
5	アルバム/アーティスト	楽曲、アルバム、アーティスト名を表示します。
6	トラック情報	曲時間と再生時間を表示します。
7	プレイ状態	プレイ状態(再生、一時停止、早送り、巻戻し)を表示します。
8	音量	音量を表示します。
9	A-B リピート	A-B リピート/リピート/ランダムモード(ノーマル、1 曲リピート、全曲リピート、ランダム再生、ランダムリピート、フォルダ内ファイルの再生/リピート/ランダム)を表示します。
10	EQ モード	イコライザーモード(ノーマル、ポップ、ロック、クラシック、ジャズ、バス、ユーザーEQ)を表示します。
11	再生速度	再生速度を表示します。
12	日付&時刻	日付およびローカルと対応する世界各国の現在時刻(RTC)を表示します。
13	録音設定	録音デバイス、録音品質、VAD を表示します。

基本操作


一番最初に **T.sonic™ 820** をご使用される前には、**USB** ケーブル**(**ミニ **USB** 端子**-USB** 端子**)**を使用してコンピュータに接続し、少なくとも **12** 時間以上の充電を行ってください。

バッテリーの充電

USB ケーブルのミニ USB 端子を **T.sonic™ 820** のミニ USB ポートに接続し、USB 端子をデスクトップ/ノートブックコンピュータの利用可能な USB ポートに接続します。**T.sonic™ 820** をコンピュータに接続すると、リチウムイオンバッテリーの充電が開始されます。

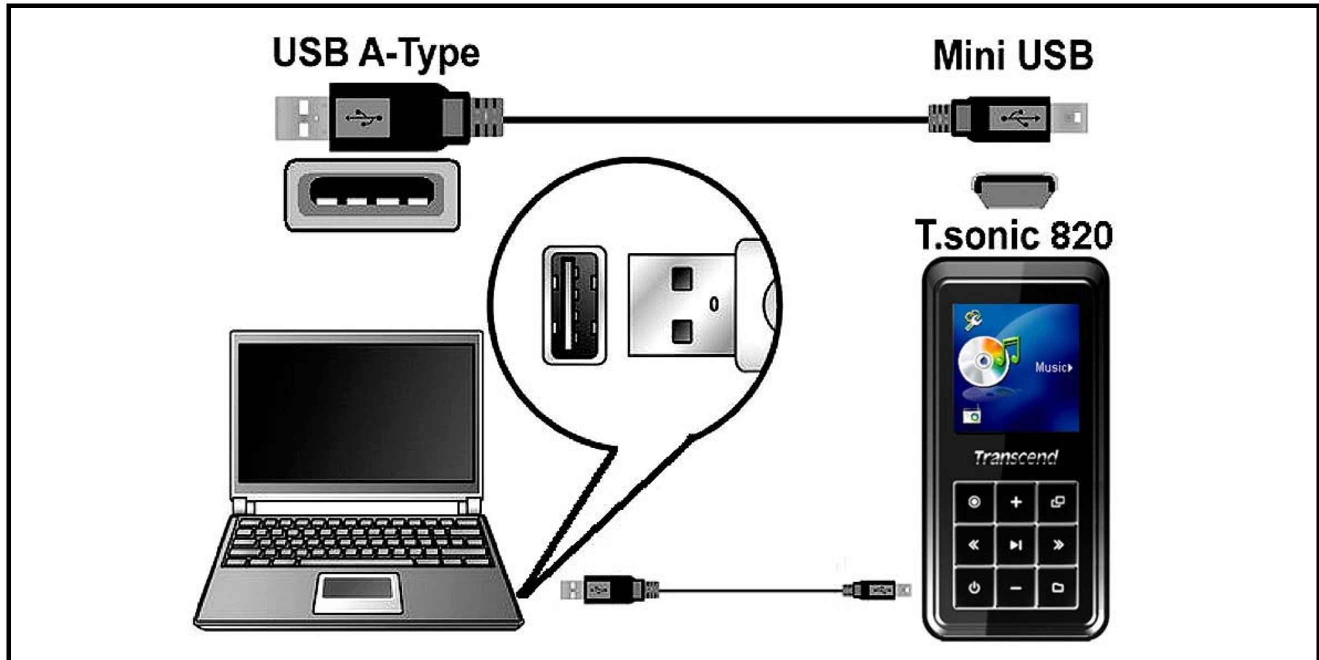
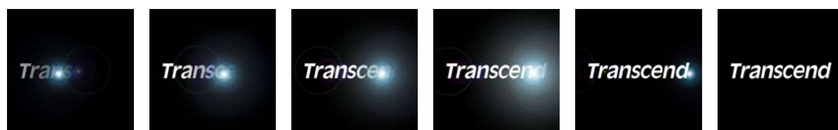


図 2. コンピュータへの接続

電源オン

電源ボタン を長押しして電源を入れます。有機 EL ディスプレイにロゴが現れます。スタートアップ画面が消えると**音楽**モード画面(デフォルトの場合)が表示され、**T.sonic™ 820** が利用可能な状態になります。



❖ 電源オンには数秒かかります。

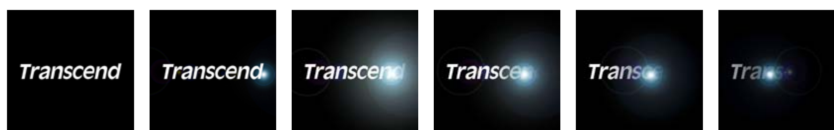
❖ 電源を入れる際にロックアイコン が有機 EL ディスプレイに表示された場合、**T.sonic™ 820** のロックスイッチが有効になっています。電源を入れる前には、ロックスイッチを解除してください。

Power OFF

- **電源**ボタン を長押しして電源を切ります。

❖ 電源オフには数秒かかります。

❖ 電源オフの状態は有機 EL ディスプレイに表示されます。



再生

- **再生/一時停止**ボタン を押して、選択した音楽、動画、画像、E ブック、録音ファイルを再生します。

一時停止

- ファイルの再生中に**再生/一時停止**ボタン を押すと一時停止します。

次へ進む

- **進む-早送り**ボタン を押すと次のファイルへ進みます。

前に戻る

- **戻る-巻戻し**ボタン を押すと前のファイルに戻ります。

早送り

- **進む-早送り**ボタン を押し続けると早送りします。

巻戻し

- **戻る-巻戻し**ボタン を押し続けると巻戻しします。

音量を上げる

- **音量アップ**ボタン を数回押す、または長押しして適度と思われる音量になるように調節します。

音量を下げる

- **音量ダウン**ボタン を数回押す、または長押しして適度と思われる音量になるように調節します。

メインメニュー

- いずれのモードが選択されている場合も、**メニュー**ボタン を押すとメインメニューに移動できます。メインメニューから**音楽**、**ラジオ**、**録音**、**動画**、**画像**、**E ブック**、**設定**の各モードに移動することができます。

ファイルナビゲーション

- 音楽、録音、動画、画像、E ブックモードでナビゲーションボタン を押すとファイルナビゲーションモードが開きます。

ボイスレコード

T.sonic™ 820 の**録音**モードではデフォルトで**内蔵マイク**が録音デバイスに設定されています。

- ラジオモードを除くすべてのモード時に、**録音**ボタン を 2 秒以上押すと **T.sonic™ 820** の内蔵マイクからの録音が開始されます。
- 録音中に**録音**ボタン を 2 秒以上押すと録音を停止します。
- 録音ファイルは**録音**モードに保存されます。

リピート/ランダム再生

ファイルの**ノーマル再生**、**1 曲リピート**、**全曲リピート**、**ランダム再生**やフォルダ内ファイルの**ノーマル再生**、**リピート**、**ランダム再生**を設定します。詳細は、**設定**のリピートモードを参照ください。

A-B リピート

- **音楽**または**録音**モードでファイルを再生させ、リピートしたい部分の始まりで**録音**ボタン を押します。
- リピートを終わらせたい部分で**録音**ボタン を押します。
- MP3/WMA/WMA-DRM10/WAV ファイルではこの機能で指定された部分が繰り返し再生されます。
- もう一度**録音**ボタン を押すと A-B リピートを終了します。

ロック

ロックスイッチ を**"ON"**の位置に設定すると、すべてのボタン操作は無効になります。

リセット

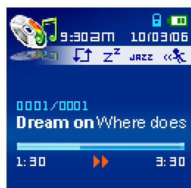
リセットボタン を 3 秒～5 秒押し続けることで **T.sonic™ 820** をリセットすることができます。



T.sonic™ 820は**WMA-DRM10**フォーマットにのみ対応しています。**DRM**対応の音楽ファイルを購入する場合は**WMA-DRM10**フォーマットであるかご確認ください。また、**WMA-DRM10**フォーマットの音楽ファイルを再生する場合、転送モードを**MTP**メディア転送モードに設定してください。

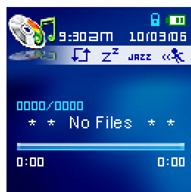
MP3/WMA/WMA-DRM10 ファイルの再生

1. **電源**ボタン を長押しして電源を入れます。初期状態では、画面は**音楽**モードになっています。



❖ また、**メニュー**ボタン を押してメインメニューを開き、**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して**音楽**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン または**進む-早送り**ボタン を押すことでも**音楽**モードを開くことができます。

2. 利用可能な MP3/WMA/WMA-DRM10 ファイルがない場合、有機 EL ディスプレイに**"**No Files**" (ファイルがありません)"**メッセージが表示されます。



3. **進む-早送り**ボタン または**戻る-巻戻し**ボタン を押してお好みの MP3/WMA/WMA-DRM10 ファイルを選択します。

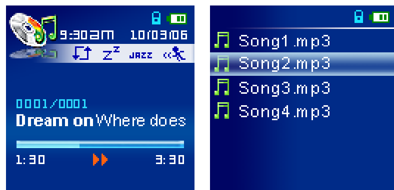
4. **再生/一時停止**ボタン を押して、MP3/WMA/WMA-DRM10 ファイルを再生します。

❖ **T.sonic™ 820** は、32Kbps～320Kbps レートで圧縮された Mpeg I Layer 3 と WMA ファイルのみに対応しています。

ファイルナビゲーションモード

ファイルナビゲーションモードによりトラック/ファイル/フォルダ間の移動が簡単に行えます。また、プレイリストのトラックを選択し、再生することができます。ファイルはプレイリストに入れた順に再生されます。

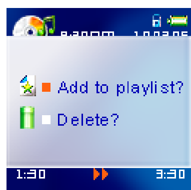
1. ナビゲーションボタン を押して、ファイルナビゲーションモードを開きます。



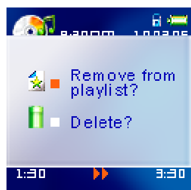
2. **音量アップ**ボタン を押してまたは**音量ダウン**ボタン を押してフォルダを選択します。
3. **進む-早送り**ボタン を押してフォルダを開き、**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してファイルを選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、選択したファイルを再生します。
4. **戻る-巻戻し**ボタン を押すと 1 階層上のフォルダに移動します。
5. **戻る-巻戻し**ボタン を繰り返し押すと、ルートディレクトリ—**[/Root.DIR/]** (最上階層のフォルダ)に移動します。
6. ルートディレクトリ—**[/Root.DIR/]**(最上階層のフォルダ)で**戻る-巻戻し**ボタン を押すと、ファイルナビゲーションモードを終了します。

プレイリストの作成

1. ファイルナビゲーションモードでプレイリストに加えるファイルを選択します。
2. ナビゲーションボタン を押して、オプション(**Add to playlist**/**Delete**)を開きます。



3. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して **Add to playlist** を選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと、ファイルをマークしてプレイリストに追加します。

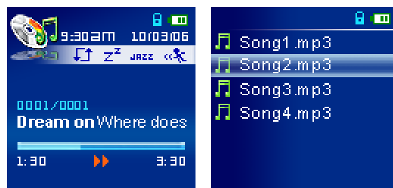


4. マークしたファイルをプレイリストから外す場合、マークを外すファイルを選択し、**ナビゲーション**ボタン を押して、オプション(**Remove from playlist**/**Delete**)を開きます。

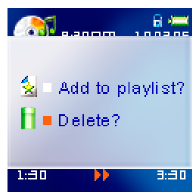
5. 音量アップボタン または音量ダウンボタン を押して **Unmark (マークを外す)**を選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと、ファイルのマークが外されプレイリストから削除します。

音楽モードのファイル削除

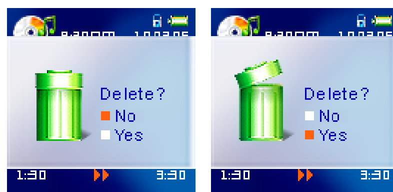
1. ナビゲーションボタン を押して、**ファイルナビゲーションモード**を開きます。



2. 音量アップボタン または音量ダウンボタン を押してフォルダを選択します。
3. **進む-早送り**ボタン を押してフォルダを開き、**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してファイルを選択します。
4. ナビゲーションボタン を押して、オプション(**Mark/Unmark/Delete**)を開きます。**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して **Delete (削除)**を選択します。



5. 音量アップボタン または音量ダウンボタン を押して、**YES (はい)**または **NO (いいえ)**を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、ファイルを削除し、**ファイルナビゲーションモード**に戻ります。



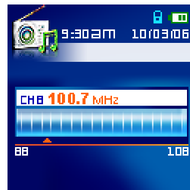
ラジオモード

FM ラジオ機能

1. イヤホン をイヤホンジャックに取り付けます。
2. メニューボタン を押してメインメニューを開きます。
3. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押して**ラジオ**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン または**進む-早送り**ボタン を押すと**ラジオ**モードが開きます。



4. FM ラジオの周波数が有機 EL ディスプレイに表示されます。

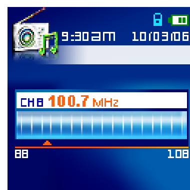


❖ 初めてご使用する場合、全チャンネルは一度オートスキャンされ、強い電波を受信した周波数を 9 チャンネル分設定します。これは**設定**メニューの **FM リセット**を使用した場合も機能します。

ラジオチャンネルの選択

ラジオモードではラジオチャンネルをマニュアルで検索することができます。

1. **進む-早送り**ボタン または**戻る-巻戻し**ボタン を押して、FM 周波数を調節し、お好みのチャンネルを選択します。(周波数は、各ボタンを一回押すごとに 0.1MHz 単位で調節されます。) 或いは、**進む-早送り**ボタン または**戻る-巻戻し**ボタン を長押しすることで、次のチャンネルをオートスキャンできます。



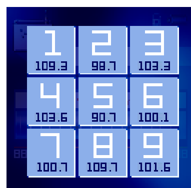
音量を上げる/下げる

1. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、適度と思われる音量になるように調節します。

チャンネルの保存

T.sonic™ 820 のメモリにお好みのラジオ局が 9 チャンネル(CH01～CH9)保存できます。

1. お好みのラジオ局のチャンネル(周波数)を選択します。
2. ナビゲーションボタン を押すと 1 から 9 のチャンネル番号が画面下に表示されます。



3. 対応するボタンを長押しして保存します。

保存したチャンネルの選択

1. ラジオモードで、ナビゲーションボタン を押すと 1 から 9 のチャンネル番号が画面下に表示されます。



2. チャンネル番号に対応するボタンを押すと、保存したチャンネルが楽しめます。
3. 画面は**ラジオ**モードに戻り、保存したチャンネルの FM 周波数を表示します。

FM 録音

1. お好みのチャンネル(周波数)を選択します。
2. **録音**ボタン を 2 秒間押すと録音が開始されます。
3. 画面では録音している FM ラジオファイルが表示され、**録音**モードの**[/FMIN.DIR/]**のフォルダの中に録音ファイルが保存されます。



4. 録音ファイル名は**[Month/DayF001.WAV]**から始まり、次のファイル名は**[Month/DayF002.WAV]**というように順に続きます。
5. 録音中に**再生/一時停止**ボタン を押すと録音を一時停止し、再度**再生/一時停止**ボタン を押すと録音を再開します。
6. 録音中に**録音**ボタン を 2 秒間押すと録音を停止し、画面は**ラジオ**モードに戻ります。

7. ラジオモードでは録音されたファイルは**[/FMIN.DIR/]**のフォルダの中に作成されます。録音ファイル名は**[Month/DayF001.WAV]**から始まり、次のファイル名は**[Month/DayF002.WAV]**というように順に続きます。録音ファイルはファイルナビゲーションモードを使ってアクセスすることができます。

	サンプル周波数	チャンネル	**2GB**	**4GB**
FM 録音	Low (8KHz)	2 (stereo)	64 hrs	128 hrs
	Med (16KHz)	2 (stereo)	32 hrs	64 hrs
	High (32KHz)	2 (stereo)	16 hrs	32 hrs

❖ 上表は **T.sonic™**に十分な空き容量がある場合に録音可能な合計時間を示しています。(1 度に録音可能な最大時間を示すものではありません。)

録音モード

録音音源

T.sonic™ 820 は 4 タイプの音源(**FM** ラジオ、**内蔵**マイク、**外付けマイク**、**ライン入力**[CDプレーヤー等からの録音])を高品質で録音することができます。

FM 録音については **FM 録音**を参照ください。

T.sonic™ 820 の**内蔵マイク**を使用して録音を行う場合、録音デバイスを**マイク**に設定してください。

録音デバイスの選択

デフォルトでは録音デバイスは**内蔵マイク**に設定されています。設定を変更することで**外付けマイク**や**ライン入力**による録音をすることができます。

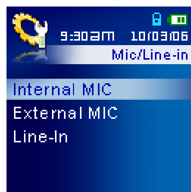
1. ラジオモードを除くすべてのモード時に、**録音**ボタン を 2 秒以上押すと **T.sonic™ 820** の内蔵マイクからの録音が開始されます。
2. 録音デバイスを選択するには**メニュー**ボタン を押してメインメニューを開きます。
3. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して**設定**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン または**進む-早送り**ボタン を押すと**設定**モードが開きます。



4. **設定**モードで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン /**戻る-巻戻し**ボタン を押して**録音デバイス**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと録音デバイスモードが開きます。

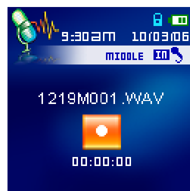


5. **録音デバイス**モードで、**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して録音デバイス(**マイク**、**外付けマイク**、**ライン入力**[CDプレーヤー等からの録音])を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押して選択項目を設定します。



内蔵マイクによる録音

1. ラジオモードを除くすべてのモード時に、**録音**ボタン を 2 秒以上押すと **T.sonic™ 820** の内蔵マイクからの録音が開始されます。
2. 録音ファイルが作成され、画面に表示されます。このファイルは**録音**モードの**[/MICIN.DIR/]**フォルダに保存されます。



3. 録音ファイル名は**[Month/DayM001.WAV]**から始まり、次のファイル名は**[Month/DayM002.WAV]**というように順に続きます。
4. 録音中に**再生/一時停止**ボタン を押すと録音を一時停止し、再度、**再生/一時停止**ボタン を押すと録音を再開します。
5. 録音中に**録音**ボタン を 2 秒以上長押しすると録音を停止し、**録音**モードに戻ります。
6. 録音ファイルは**録音**モードに保存され、**ファイルナビゲーション**モードで検索できます。

	サンプル周波数	チャンネル	**2GB**	**4GB**
内蔵マイクによる録音	Low (8KHz)	1 (mono)	128 hrs	256 hrs
	Med (16KHz)	1 (mono)	64 hrs	128 hrs
	High (32KHz)	1 (mono)	32 hrs	64 hrs

❖ 上表は **T.sonic™**に十分な空き容量がある場合に録音可能な合計時間を示しています。(1 度に録音可能な最大時間を示すものではありません。)

❖ 録音品質を向上させるには、**T.sonic™**のマイクをボイス録音の音源に近づけてください。

外付けマイクによる録音

1. **録音デバイス**モードで、録音デバイスとして**外付けマイク**を選択します。
2. 外付けマイクを **T.sonic™ 820** のライン入力ポートに接続します。
3. **録音**ボタン を 2 秒以上押すと**外付けマイク**を使用した録音が開始されます。
4. 録音ファイルが作成され、画面に表示されます。このファイルは**録音**モードの**[/MICIN.DIR/]**フォルダに保存されます。



5. 録音ファイル名は**[Month/DayM001.WAV]**から始まり、次のファイル名は**[Month/DayM002.WAV]**というように順に続きます。
6. 録音中に**再生/一時停止**ボタン を押すと録音を一時停止し、再度、**再生/一時停止**ボタン を押すと録音を再開します。
7. 録音中に**録音**ボタン を 2 秒以上長押しすると録音を停止し、**録音**モードに戻ります。
8. 録音ファイルは**録音**モードに保存され、**ファイルナビゲーションモード**で検索できます。

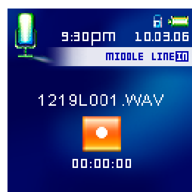
	サンプル周波数	チャンネル	2GB	4GB
外付けマイクによる録音	Low (8KHz)	1 (mono)	128 hrs	256 hrs
	Med (16KHz)	1 (mono)	64 hrs	128 hrs
	High (32KHz)	1 (mono)	32 hrs	64 hrs

❖ 上表は **T.sonic™**に十分な空き容量がある場合に録音可能な合計時間を示しています。(1 度に録音可能な最大時間を示すものではありません。)

❖ 録音品質を向上させるには、**外付けマイク**をボイス録音の音源に近づけてください。

ライン入力による録音

1. **録音**デバイスモードで、録音デバイスとして**ライン入力**を選択します。
2. ライン入力ケーブルを **T.sonic™ 820** の**ライン入力**ポートに接続し、もう一方のケーブル端子を音源となるデバイス(CD プレーヤー等)に接続します。
3. **録音**ボタン を 2 秒以上押すと**ライン入力**接続による録音が開始されます。
4. 録音ファイルが作成され、画面に表示されます。このファイルは**録音**モードの**[/LINEIN.DIR/]**フォルダに保存されます。



5. 録音ファイル名は**[Month/DayL001.WAV]**から始まり、次のファイル名は**[Month/DayL002.WAV]**というように順に続きます。
6. 録音中に**再生/一時停止**ボタン を押すと録音を一時停止し、再度、**再生/一時停止**ボタン を押すと録音を再開します。
7. 録音中に**録音**ボタン を 2 秒以上長押しすると録音を停止し、**録音**モードに戻ります。
8. 録音ファイルは**録音**モードに保存され、**ファイルナビゲーションモード**で検索できます。

	サンプル周波数	チャンネル	**2GB**	**4GB**
ライン入力による録音	Low (8KHz)	2 (mono)	64 hrs	128 hrs
	Med (16KHz)	2 (mono)	32 hrs	64 hrs
	High (32KHz)	2 (mono)	16 hrs	32 hrs

❖ 上表は **T.sonic™**に十分な空き容量がある場合に録音可能な合計時間を示しています。(1 度に録音可能な最大時間を示すものではありません。)

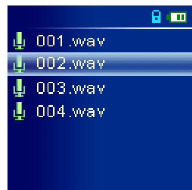
録音ファイルの再生

1. メニューボタン を押してメインメニューを開きます。
2. 音量アップボタン または音量ダウンボタン を押して**録音**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン または**進む-早送り**ボタン を押すと**録音**モードが開きます。
3. **進む-早送り**ボタン または**戻る-巻戻し**ボタン を押してお好みのファイル(**[Month/DayF00x.WAV]**、**[Month/DayM00x.WAV]**、**[Month/DayL00x.WAV]**)を選択します。
4. **再生/一時停止**ボタン を押すと選択したファイルが再生します。

ファイルナビゲーションモード

ファイルナビゲーションモードによりトラック/ファイル/フォルダ間の移動が簡単に行えます。

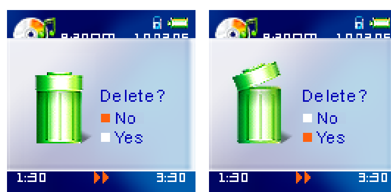
1. 録音モードで、ナビゲーションボタン を押して、ファイルナビゲーションモードを開きます。



2. 音量アップボタン または音量ダウンボタン を押してフォルダ(**[/MICIN.DIR/]**または**[/LINEIN.DIR/]**)を選択します。
3. 進む-早送りボタン を押してフォルダ(**[/MICIN.DIR/]**または**[/LINEIN.DIR/]**)を開き、音量アップボタン または音量ダウンボタン を押してファイル(**[Month/DayM00x.WAV]**または**[Month/DayL00x.WAV]**)を選択します。再生/一時停止ボタン を押すと、選択したファイルを再生します。
4. 戻る-巻戻しボタン を押すと 1 階層上のフォルダに移動します。
5. 戻る-巻戻しボタン を繰り返し押すと、ルートディレクトリー**[/Root.DIR/]** (最上階層のフォルダ)に移動します。
6. ルートディレクトリー**[/Root.DIR/]**(最上階層のフォルダ)で戻る-巻戻しボタン を押すと、ファイルナビゲーションモードを終了します。

録音モードに保存したファイルの削除

1. ナビゲーションボタン を押して、ファイルナビゲーションモードを開きます。
2. 音量アップボタン または音量ダウンボタン を押してフォルダを選択します。
3. 進む-早送りボタン を押してフォルダを開き、音量アップボタン または音量ダウンボタン を押してファイルを選択します。ナビゲーションボタン を押すと、ファイル削除モードが開きます。
4. 音量アップボタン または音量ダウンボタン を押して、**YES (はい)**または **NO (いいえ)**を選択します。再生/一時停止ボタン を押すと、ファイルを削除し、ファイルナビゲーションモードに戻ります。



録音モード

動画モード



T.sonic™ 820で 動画を楽しむ場合、動画ファイルを**T.sonic™ 820**に転送する前に**.mtv**フォーマットに変換する必要があります。

動画ファイルの再生

1. メニューボタン を押してメインメニューを開きます。
2. 音量アップボタン または音量ダウンボタン を押して動画アイコンを選択し、再生/一時停止ボタン または進む-早送りボタン を押すと動画モードが開きます。



3. 音量アップボタン または音量ダウンボタン を押してお好みのファイルを選択します。
4. 再生/一時停止ボタン を押すと選択したファイルが再生します。
5. 動画再生中に進む-早送りボタン を押し続けると動画を早送りし、戻る-巻戻しボタン を押し続けると動画を巻戻しします。

❖ **T.sonic™ 820** の動画再生機能は**.mtv** フォーマットのみに対応しています。トランセンドマルチメディアコンバーターを使用して**.MPEG4**、**.DivX**、**.AVI**、**.xVID** フォーマットの動画ファイルを**.mtv** フォーマットに変換してください。

ファイルナビゲーションモード

ファイルナビゲーションモードによりトラック/ファイル/フォルダ間の移動が簡単に行えます。

1. 動画モードで、ナビゲーションボタン を押して、ファイルナビゲーションモードを開きます。



2. 音量アップボタン または音量ダウンボタン を押してフォルダを選択します。
3. 進む-早送りボタン を押してフォルダを開き、音量アップボタン または音量ダウンボタン を押してファイルを選択します。再生/一時停止ボタン を押すと、選択したファイルを再生します。
4. 戻る-巻戻しボタン を押すと 1 階層上のフォルダに移動します。
5. 戻る-巻戻しボタン を繰り返し押すと、ルートディレクトリー**[/Root.DIR/]** (最上階層のフォルダ)に移動します。

6. ルートディレクトリー**[/Root.DIR/]**(最上階層のフォルダ)で**戻る-巻戻し**ボタン を押すと、ファイルナビゲーションモードを終了します。

動画モードのファイル削除

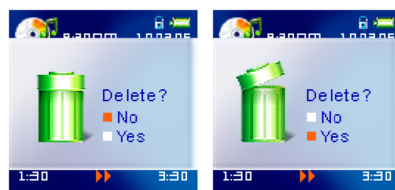
1. ナビゲーションボタン を押して、**ファイルナビゲーションモード**を開きます。



2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してフォルダを選択します。

3. **進む-早送り**ボタン を押してフォルダを開き、**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してファイルを選択します。**ナビゲーション**ボタン を押すと、**ファイル削除**モードが開きます。

4. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**YES (はい)**または **NO (いいえ)**を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、ファイルを削除し、**ファイルナビゲーションモード**に戻ります。



動画モード

画像モード



T.sonic™ 820で 画像を楽しむ場合、画像ファイル(**.jpg**、**.bmp**)を**T.sonic™ 820**に転送する必要があります。

画像ファイルの再生

1. メニューボタン を押してメインメニューを開きます。
2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して**画像**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン または**進む-早送り**ボタン を押すと**画像**モードが開きます。



3. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してお好みのファイルを選択します。
4. **再生/一時停止**ボタン を押すと選択したファイルが表示され、再度**再生/一時停止**ボタン を押すとスライドショーを開始します。

❖ **T.sonic™ 820** の画像再生機能は**.jpg** または**.bmp** フォーマットのみに対応しています。

ファイルナビゲーションモード

ファイルナビゲーションモードによりトラック/ファイル/フォルダ間の移動が簡単に行えます。

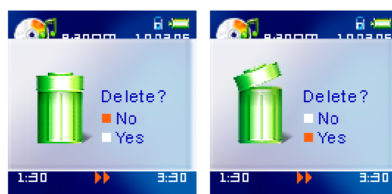
1. **画像**モードで、ナビゲーションボタン を押して、**ファイルナビゲーションモード**を開きます。



2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してフォルダを選択します。
3. **進む-早送り**ボタン を押してフォルダを開き、**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してファイルを選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、選択したファイルを再生します。
4. **戻る-巻戻し**ボタン を押すと 1 階層上のフォルダに移動します。
5. **戻る-巻戻し**ボタン を繰り返し押すと、ルートディレクトリー**[/Root.DIR/]** (最上階層のフォルダ)に移動します。
6. ルートディレクトリー**[/Root.DIR/]**(最上階層のフォルダ)で**戻る-巻戻し**ボタン を押すと、ファイルナビゲーションモードを終了します。

画像モードのファイル削除

1. ナビゲーションボタン を押して、**ファイルナビゲーションモード**を開きます。
2. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押してフォルダを選択します。
3. **進む-早送り**ボタン を押してフォルダを開き、**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してファイルを選択します。**ナビゲーション**ボタン を押すと、**ファイル削除**モードが開きます。
4. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**YES (はい)**または **NO (いいえ)**を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、ファイルを削除し、**ファイルナビゲーションモード**に戻ります。



画像モード

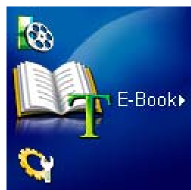
E ブックモード



T.sonic™ 820で **E**ブックを楽しむ場合、**E**ブックファイル**(.txt)**を**T.sonic™ 820**に転送する必要があります。

E ブックファイルの再生

1. メニューボタン を押してメインメニューを開きます。
2. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押して **E** ブックアイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン または**進む-早送り**ボタン を押すと **E** ブックモードが開きます。



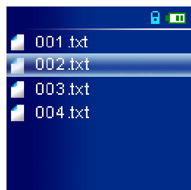
3. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押してお好みのファイルを選択します。
4. **再生/一時停止**ボタン を押すと選択したファイルが再生します。
5. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押して E ブックのページを進めたり、戻ることができます。

❖ **T.sonic™ 820** の E ブック機能は**.txt** フォーマットのみに対応しています。

ファイルナビゲーションモード

ファイルナビゲーションモードによりトラック/ファイル/フォルダ間の移動が簡単に行えます。

1. **E** ブックモードで、**ナビゲーション**ボタン を押して、**ファイルナビゲーションモード**を開きます。

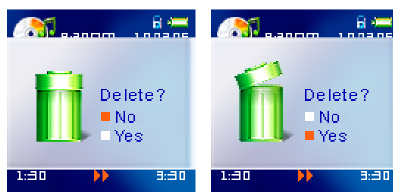


2. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押してフォルダを選択します。
3. **進む-早送り**ボタン を押してフォルダを開き、**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してファイルを選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、選択したファイルを再生します。
4. **戻る-巻戻し**ボタン を押すと 1 階層上のフォルダに移動します。
5. **戻る-巻戻し**ボタン を繰り返し押すと、ルートディレクトリー**[/Root.DIR/]** (最上階層のフォルダ)に移動します。

6. ルートディレクトリー**[/Root.DIR/]**(最上階層のフォルダ)で**戻る-巻戻し**ボタン を押すと、ファイルナビゲーションモードを終了します。

E ブックモードのファイル削除

1. ナビゲーションボタン を押して、ファイルナビゲーションモードを開きます。
2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してフォルダを選択します。
3. **進む-早送り**ボタン を押してフォルダを開き、**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押してファイルを選択します。**ナビゲーション**ボタン を押すと、**ファイル削除**モードが開きます。
4. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**YES (はい)**または **NO (いいえ)**を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、ファイルを削除し、**ファイルナビゲーションモード**に戻ります。



E ブックモード

設定

設定メニューを開く

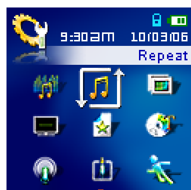
1. メニューボタン を押してメインメニューを開きます。
2. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押して**設定**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン または**進む-早送り**ボタン を押すと**設定**メニューが開きます。



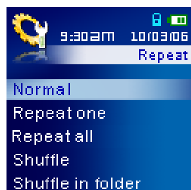
リピートモード

お好みの**リピートモード**(ノーマル再生、1 曲リピート、全曲リピート、ランダム再生、フォルダ内ファイルのノーマル再生/リピート/ランダム再生)を選択します。

1. **設定**メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン /**戻る-巻戻し**ボタン を押して**リピート**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**リピート**モードが開きます。



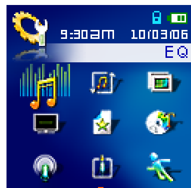
2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して**リピート**モードを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押して設定すると**設定**メニューに戻ります。



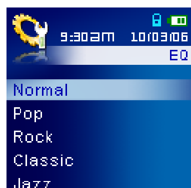
イコライザー(EQ)モード

お好みの EQ モード(ノーマル、ポップ、ロック、クラシック、ジャズ、バス、ユーザーEQ)を選択します。

1. **設定**メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**イコライザー**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**イコライザー**モードが開きます。



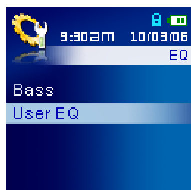
2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**イコライザー**モードを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押して設定すると**設定**メニューに戻ります。



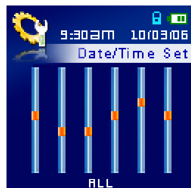
ユーザーEQ

ユーザーEQ は 5 種類のイコライザーの設定をカスタマイズしてお好みのサウンドを楽しむことができます。

1. **イコライザー**モードで、**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して**ユーザーEQ** アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**ユーザーEQ** モードが開きます。



2. **進む-早送り**ボタン または**戻る-巻戻し**ボタン を押して調節するイコライザーの周波数帯 **(80Hz - 250Hz – 1KHz - 4KHz - 12KHz)**を選択します。**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、-8dB から+7dB 間でイコライザーレベルを 1.0dB 単位で設定します。

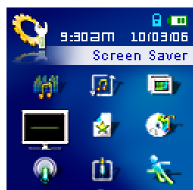


3. **再生/一時停止**ボタン を押すと、設定した**ユーザーEQ** を保存し、**イコライザー**モードに戻ります。

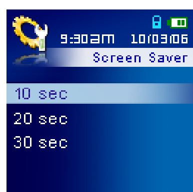
スクリーンセーバー

特定時間(10 分/1 分/30 秒)にボタン操作がない場合、スクリーンセーバー(1. **無表示**、2. **ロゴ**、3. **曲名**、4. **時刻表示**、5. **イメージ**)を起動するタイマーを設定します。
例. ボタン操作が 30 秒間ない場合、スクリーンは無表示状態になります。

1. **設定**メニューで、**音量アップ**ボタン **/音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**スクリーンセーバー**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**スクリーンセーバー**モードが開きます。



2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、スクリーンセーバーを起動するタイマーの時間(**10 Sec [10 秒] – 20 Sec [20 秒] –30 Sec [30 秒]**)を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、選択した時間を設定します。**設定**メニューに戻ります。

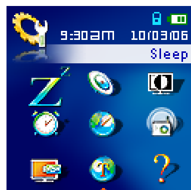


3. タイマーの時間を設定後、表示させるスクリーンセーバーを選択します。
4. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**無表示**、**ロゴ**、**曲名**、**時刻表示**、**イメージ** アイコンを選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、選択したスクリーンセーバーを設定し、**設定**メニューに戻ります。

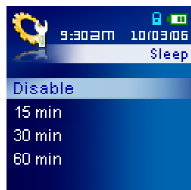
スリープ

特定時間(10/30/60 分)のアイドリング後に **T.sonic™ 820** の電源を自動的にオフにするタイマーを設定します。

1. **設定**メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**スリープ**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すとスリープモードが開きます。



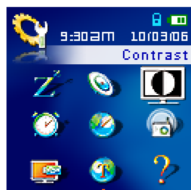
2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、パワーセーブを起動するタイマーの時間(**OFF [オフ] – 15 Min [15 分] – 30 Min [30 分] – 60 Min [60 分]**)を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、選択した時間を設定し、**設定**メニューに戻ります。



コントラスト

有機 EL ディスプレイのコントラストを設定します。高いコントラストを設定するとバッテリーの消費が速くなります。

1. **設定**メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**コントラスト**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すとコントラストモードが開きます。



2. **進む-早送り**ボタン または**戻る-巻戻し**ボタン を押して、コントラストレベルを調節します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、調節したコントラストレベルを設定し、**設定**メニューに戻ります。



設定

言語

楽曲/アーティスト名を表示する言語を設定します。**T.sonic™ 820** は 13 ヶ国語に対応しています。

1. 設定メニューで、**音量アップ**ボタン **/音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**言語**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**言語**モードが開きます。



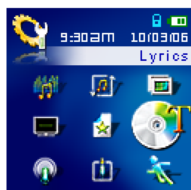
2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、言語を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと選択した言語を設定し、**設定**メニューに戻ります。



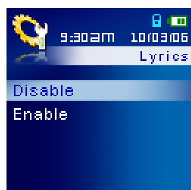
歌詞表示

トラックの再生中に歌詞を有機 EL ディスプレイに表示させせます。
(Winamp 等の歌詞入力に対応したソフトウェアが別途必用です。詳細は下記リンクを参照ください。
http://www.transcend.co.jp/support/faq/JP/FAQ_510_jp.htm)

1. 設定メニューで、**音量アップ**ボタン **/音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**歌詞表示**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**歌詞表示**モードが開きます。



2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**歌詞表示**の **ENABLE (有効)**または **DISABLE (無効)**を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと設定を保存し、**設定**メニューに戻ります。

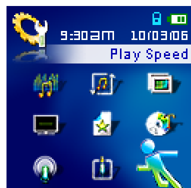


設定

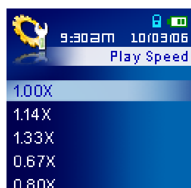
再生速度

お好みの再生速度を選択します。(0.67x、0.8x、1x、1.14x、1.33x)

1. 設定メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**再生速度**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**再生速度**モードが開きます。



2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**再生速度(0.67x – 0.8x – 1.0x – 1.14x – 1.33x)**を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと選択した再生速度を設定し、**設定**メニューに戻ります。



FM リセット

保存されたラジオチャンネルをリセットします。次回、**ラジオ**モードを開いたときに **T.sonic™ 820** は自動的に強い電波を受信した周波数を 9 チャンネル分設定します。

1. 設定メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して **FM** リセットアイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと **FM** リセットモードが開きます。



2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、リセットの **YES(はい) / NO (いいえ)**を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと選択項目を確定し、**設定**メニューに戻ります。



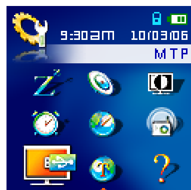
メディア転送モード

マルチメディアファイルを **T.sonic™ 820** に転送する場合、 メディア転送モードを選択する必要があります。1 つは **MTP (Media Transfer Protocol)** メディア転送モードで、もう 1 つは **USB** メディア転送モードです。

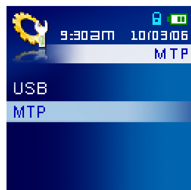
MTP メディア転送モード

WMA-DRM10 フォーマットの音楽ファイルを再生する場合、WMA-DRM10ファイルの転送や **T.sonic™ 820** の **MTP**フォルダとの同期を行うためにWindows Media Player 10 を使用するする必要があります。

1. 設定メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**メディア転送モード**アイコンを選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**メディア転送モード**が開きます。



2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**MTP** を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと選択項目を確定し、**設定**メニューに戻ります。



3. **MTP** メディア転送モードで Windows Media Player 10 を使用すると、WMA-DRM10フォーマットの音楽ファイルは **T.sonic™ 820**の**MTP** フォルダに転送、同期されます。また、他のファイルは**データ**フォルダに移されます。

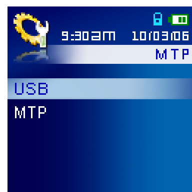
USB メディア転送モード

Mac™またはLinux™コンピュータでPCから作成したフォルダやメディアファイル(音楽、動画、画像、E ブック)を保存する場合、**USB**メディアファイル転送モードを選択してください。

1. 設定メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**メディア転送モード**アイコンを選択し、**再生/一時停止/電源**ボタン を押すと**メディア転送モード**が開きます。



2. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**USB** を選択します。**再生/一時停**止ボタン を押すと選択項目を確定し、**設定**メニューに戻ります。

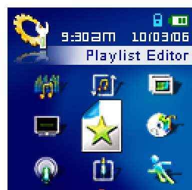


3. **USB** メディア転送モード(WMA-DRM10非対応)では、PCからフォルダやメディアファイルを保存することができます。ドラッグ&ドロップでファイルをこれらのフォルダを **T.sonic™ 820** に対応するリムーバブルディスクに移動できます。

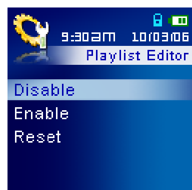
プレイリスト管理

T.sonic™ 820 のプレイリストを管理することができます。

1. **設定**メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**プレイリスト管理**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**プレイリスト管理**モードが開きます。



2. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、プレイリストの**有効**、**無効**、**リセット**を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと選択項目を確定し、**設定**メニューに戻ります。

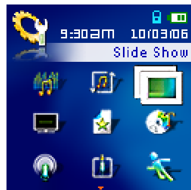


3. **プレイリスト管理**機能を有効にすると、次回から**音楽**モードを開くとプレイリストを再生することができます。

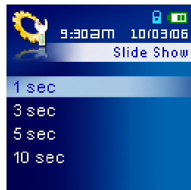
スライドショータイマー

スライドショーの表示画像の切り換え時間を設定します。**スライドショー**を使用して画像を設定します。**スライドショー機能は.sls** ファイルのみに対応しています。詳細は**ソフトウェアの設定**の**スライドショーメーカー**を参照ください。

1. **設定**メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**スライドショータイマー**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**スライドショータイマー**モードが開きます。



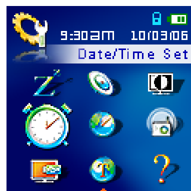
2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**スライドショータイマー(無効 – 1秒 – 3秒 – 5秒 – 10秒)**を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと選択したタイマーを設定し、**設定**メニューに戻ります。



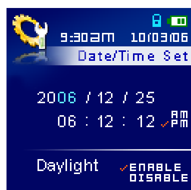
リアルタイム時計(RTC)

RTC ではローカルの日付と時刻の設定/表示が可能です。また、サマータイム(DST)を設定することができ、ローカル時刻の夏時間と冬時間を表示します。

1. **設定**メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して **RTC** アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと **RTC** モードが開きます。



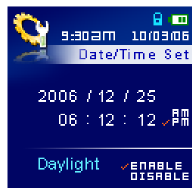
2. **進む-早送り**ボタン または**戻る-巻戻し**ボタン を押して、月、日、年を切り換えます。それぞれを**音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、時刻と日付を変更します。



3. 時刻/日付の設定画面をスクロールするとサマータイム(DST)を設定することができます。

設定

4. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**DST** 機能の **ENABLE** (有効) / **DISABLE** (無効)を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと選択を設定し、**RTC** モードに戻ります。



5. **DST** 機能を有効にすると設定したタイムゾーンの日付にしたがって自動的に時刻が調節されます。
6. **RTC** モードで**再生/一時停止**ボタン を押すと、**設定**メニューに戻ります。

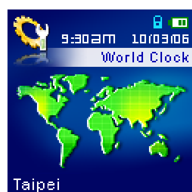
世界時計

T.sonic™ 820 は異なるタイムゾーンのローカル時刻を表示することができます。この機能は海外旅行等に便利です。

1. **設定**メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**世界時計**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**世界時計**モードが開きます。



2. タイムゾーン設定画面で、**進む-早送り**ボタン または**戻る-巻戻し**ボタン を押して、**タイムゾーン**を選択します。



3. **再生/一時停止**ボタン を押すと、変更した日付と時刻を設定し、**設定**メニューに戻ります。

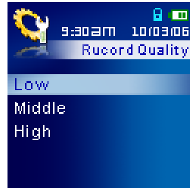
録音品質

録音品質(**Low** : 8,000Hz、**Medium**: 16,000Hz、**High**: 32,000Hz)を設定します。WAV ファイルを保存する際に高い品質ほどより多くのメモリ容量を必要とします。

1. **設定**メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**録音品質**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**録音品質**モードが開きます。



2. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押して録音品質設定(**Low – Med – High**)を切り換えます。**再生/一時停止**ボタン を押すと、選択した録音品質を設定し、**設定**メニューに戻ります。



	サンプル周波数	チャンネル	**2GB**	**4GB**
録音品質	Low (8KHz)	1 (stereo/mono)	64/128 hrs	128/256 hrs
	Med (16KHz)	1 (stereo/mono)	32/64 hrs	64/128 hrs
	High (32KHz)	1 (stereo/mono)	16/32 hrs	32/64 hrs

- ❖ 上表は **T.sonic™**に十分な空き容量がある場合に録音可能な合計時間を示しています。(1 度に録音可能な最大時間を示すものではありません。)
- ❖ 録音品質を向上させるには、**T.sonic™**のマイクをボイス録音の音源に近づけてください。
- ❖ FM 録音はステレオで録音され、マイク録音はモノラルで録音されます。ライン入力録音は使用するライン入力デバイスによって異なります。

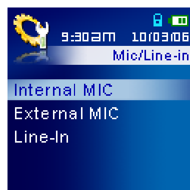
録音デバイス

録音デバイス(**内蔵マイク**、**外付けマイク**、**ライン入力**[CD プレーヤー等からの録音])を設定します。

1. **設定**メニューで、音量アップボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**録音デバイス**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと**録音デバイス**モードが開きます。



2. 音量アップボタン または**音量ダウン**ボタン を押して録音デバイス(**内蔵マイク**、**外付けマイク**、**ライン入力**[CD プレーヤー等からの録音])を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと、選択した録音デバイスを設定し、**設定**メニューに戻ります。

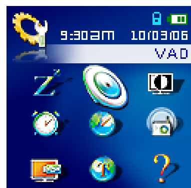


設定

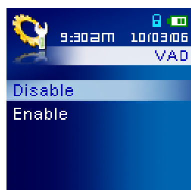
VAD (Voice Activation Detection)

VAD 機能により **T.sonic™ 820** は音声を感知したときに録音を開始します。音声がなくなった場合、再び音声を感知するまで録音を停止します。

1. 設定メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して **VAD** アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと **VAD** モードが開きます。



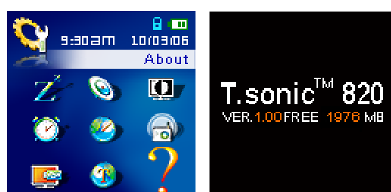
2. **音量アップ**ボタン または**音量ダウン**ボタン を押して、**VAD** の **ENABLE** (有効) / **DISABLE** (無効)を選択します。**再生/一時停止**ボタン を押すと選択を設定し、**録音設定**メニューに戻ります。



情報

T.sonic™ 820 のファームウェアのバージョンや空きメモリ容量が有機 EL ディスプレイで確認できます。

1. 設定メニューで、**音量アップ**ボタン /**音量ダウン**ボタン または**進む-早送り**ボタン / **戻る-巻戻し**ボタン を押して**情報**アイコンを選択し、**再生/一時停止**ボタン を押すと情報画面が開きます。



Windows® Me/2000/XP へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。これらの OS 上では **T.sonic™**はデフォルトでサポートされています。利用可能な USB ポートに接続するだけで、OS 側でデバイスに必要なファイルをインストールします。**マイコンピュータ**で、新たに割り当てられた**リムーバブルディスク**のドライブ番号が確認できます。

Mac™ OS 10.0 以降へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。利用可能な USB ポートに接続するだけで、OS 側で自動認識します。(USB ドライバのアップデートが必要な場合があります。)

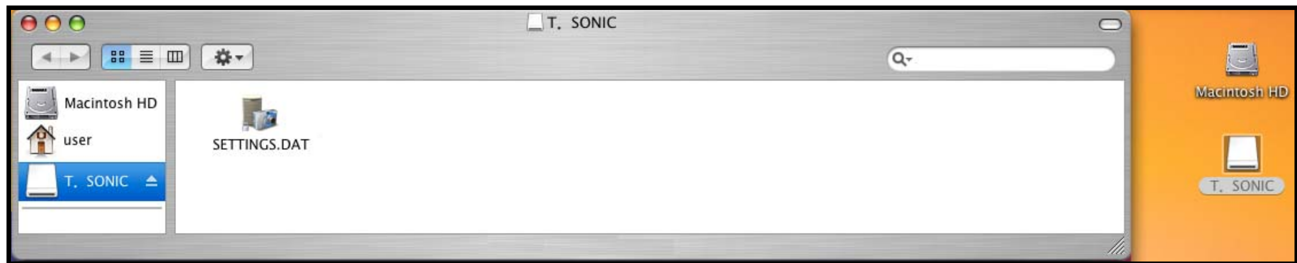


図 3. Mac へのドライバのインストール

Linux™ Kernel 2.4 以降へのドライバのインストール

ドライバは必要ありません。利用可能な USB ポートに **T.sonic™**を接続します。

1. まず、**T.sonic** のディレクトリーを作成します。

例: **mkdir /mnt /T.sonic**

2. **T.sonic™**をマウントします。

例: **mount –a –t msdos /dev/sda1 /mnt /T.sonic**



1. コンピュータに接続している時、**T.sonic™ 820** はファイル転送のみ可能です。この時、ファイルの再生や録音はできません。再生または録音する場合は、コンピュータから **T.sonic™ 820** を取り外してからご利用ください。
2. Windows で **T.sonic™ 820** をフォーマットしないでください。
3. 音楽ファイル**(MP3/WMA/WMA-DRM10/WAV)**はルートディレクトリー**[/Root.DIR/]**から **4** 階層以内のフォルダに保存してください。
4. T.sonic™ 820 では、ファイル名は半角で **128** 字以内に限られています。

コンピュータへの接続



WMA-DRM10フォーマットの音楽ファイルを再生する場合または**Windows Media Player 10**を使用している場合、**T.sonic™ 820**がコンピュータとの音楽ファイルの転送や同期を行うために**MTP (Media Transfer Protocol)**メディア転送モードを選択してください。

1. USB ケーブルのミニ USB 端子を **T.sonic™ 820** のミニ USB ポートに接続し、USB 端子をデスクトップ/ノートブックコンピュータの利用可能な USB ポートに接続します。**T.sonic™ 820** をコンピュータに接続すると、リチウムイオンバッテリーの充電が開始され、ファイルの転送を行うことができます。

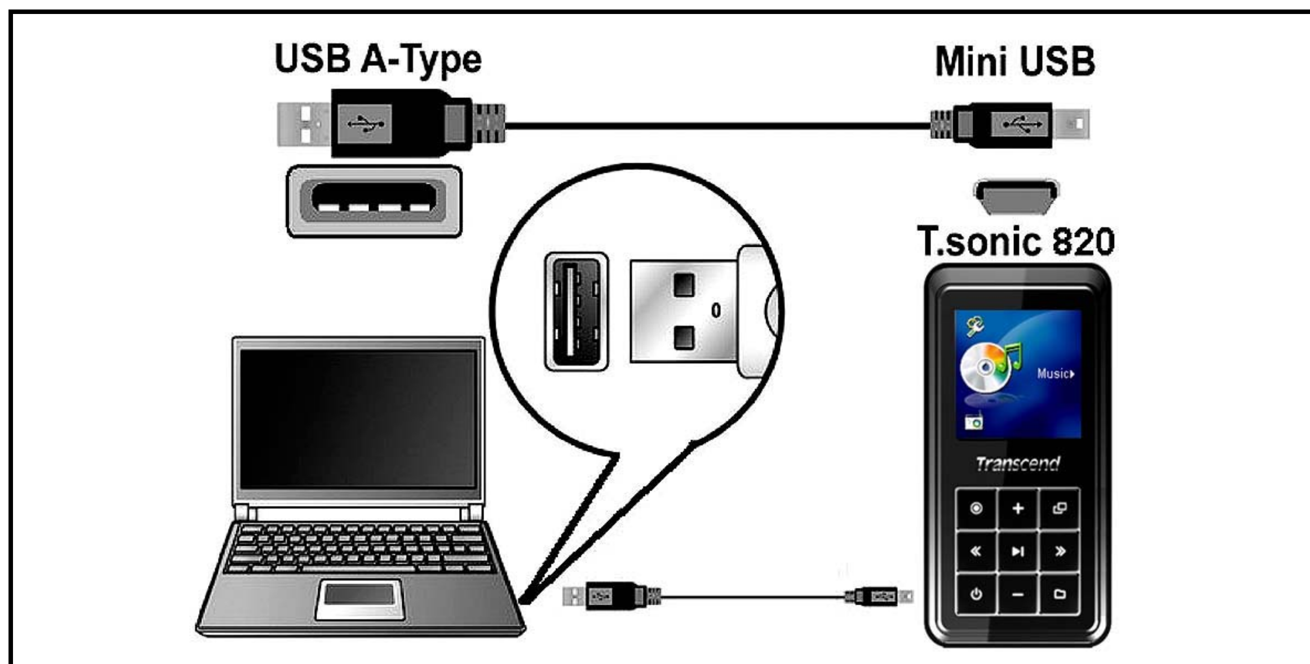


図 4. コンピュータへの接続

コンピュータへの接続

ファイルのダウンロードとアップロード



WMA-DRM10フォーマットの音楽ファイルを再生する場合、**Windows Media Player 10**を使用して**WMA-DRM10**ファイルの転送や**T.sonic™ 820**の**MTP**フォルダとの同期を行ってください。

FM ラジオを除き、**T.sonic™ 820** で音楽や映像等を楽しむには**音楽**、**動画**、**画像**、**E** ブックファイルをプレーヤーにダウンロードする必要があります。

1. Windows OS をご使用の場合、コンピュータを起動して **T.sonic™ 820** を接続する前に Windows Media Player のバージョンを確認してください。Windows Media Player 10 をご使用の場合または WMA-DRM10 フォーマットの音楽ファイルを再生する場合、**設定**のメディア転送モードの項目を参照ください。
2. USB アダプタのミニ USB 端子を **T.sonic™ 820** のミニ USB コネクタに接続し、USB 端子をデスクトップ/ノートブックコンピュータの利用可能な USB ポートに接続します。**T.sonic™ 820** をコンピュータに接続すると、リチウムイオンバッテリーの充電が開始され、ファイルの転送を行うことができます。

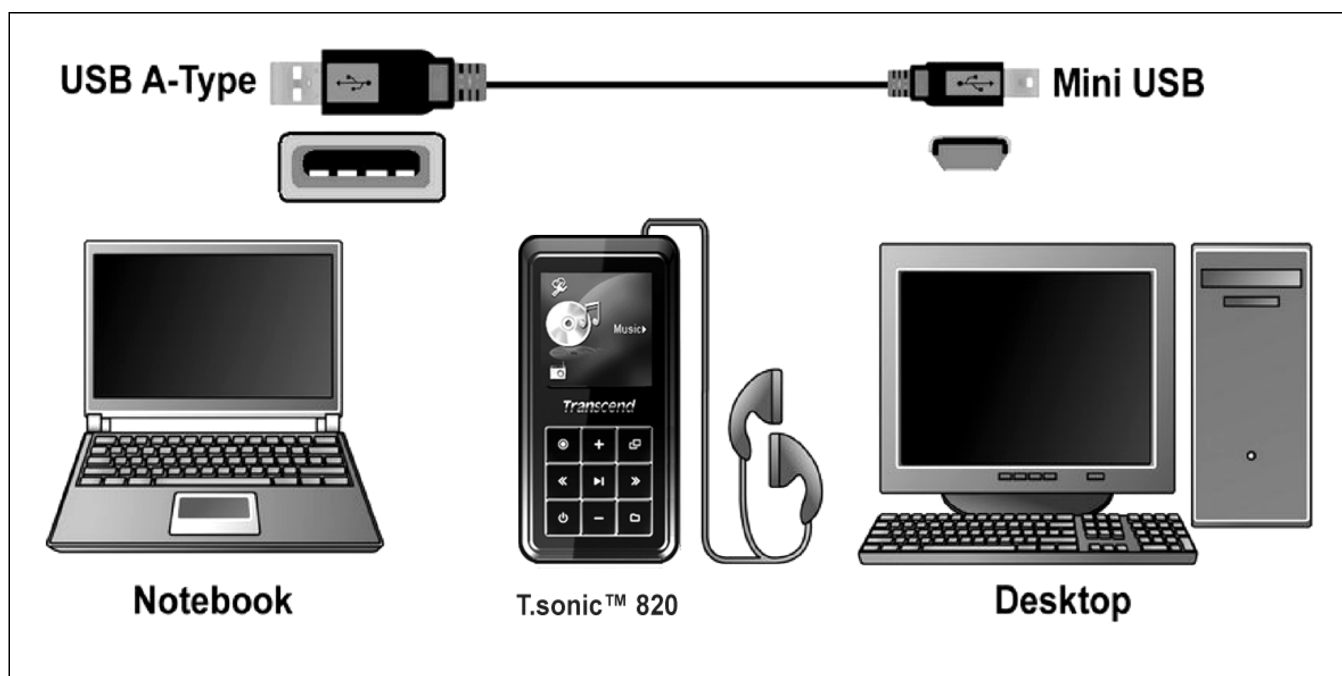


図 5. ファイルのダウンロードとアップロード

3. コンピュータに接続すると、**T.sonic™ 820** のスクリーンに**“*READY*”**メッセージが表示され、ファイルの転送が可能な状態であることを示します。Windows®をご使用の場合、**T.sonic™ 820** に対応する新しく割り当てられたドライブ番号の**リムーバブルディスク**ドライブが**マイコンピュータ**で確認できます。



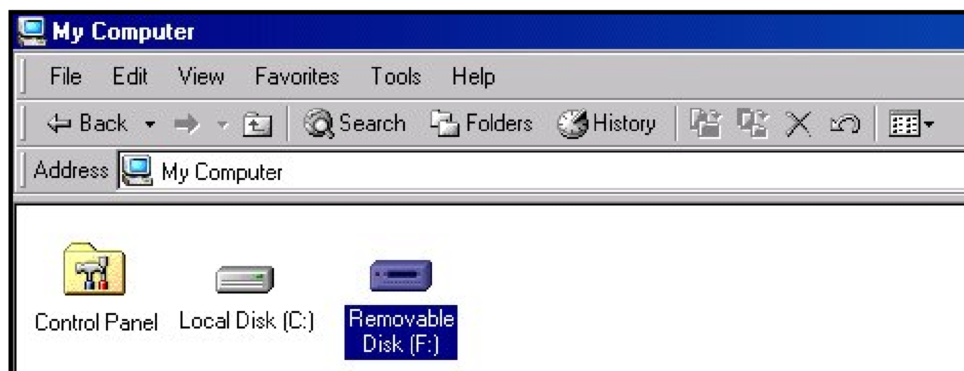


図 6. マイコンピュータ(例: Removable Disk [F:])

4. **MTP** メディア転送モードで Eindows Media Player 10 を使用すると、WMA-DRM10フォーマットの音楽ファイルは **T.sonic™ 820のMTP** フォルダに転送、同期されます。また、他のファイルは**データ**フォルダに移されます。**USB** メディア転送モード(WMA-DRM10非対応)では、PCから作成したフォルダやメディアファイル(音楽、動画、画像、E ブック)を保存することができます。ドラッグ&ドロップでファイルをこれらのフォルダを **T.sonic™ 820** に対応するリムーバブルディスクに移動できます。このとき、プレーヤーのスクリーンにはファイル転送中を示す**“*WRITE*”**メッセージが表示されます。ファイルの転送が完了するとプレーヤーのスクリーンは**“*READY*”**メッセージに戻ります。





5. コンピュータへのファイル/フォルダのアップロードを行う場合、有機 EL ディスプレイには転送中を示す**“*READ*”**メッセージが表示されます。転送が完了するとプレーヤーのスクリーンは**“*READY*”**メッセージに戻ります。





6. **T.sonic™ 820** をコンピュータから取り外す場合は、必ずコンピュータスクリーン下側の Windows®のツールバーにある**“ハードウェアの安全な取り外し”**アイコンをクリックし、正しい方法で取り外しを行ってください。



図 7. アイコン(Safely Remove Hardware)

T.sonic™の正しい取り外し方



T.sonic™を取り外す前に、有機**EL**ディスプレイが***READ/WRITE***の状態を表示していないことを確かめてください**!** この時に**T.sonic™**を外すとデータや**T.sonic™**自体にダメージを与える要因になります。

Windows® Me/2000/XP から T.sonic™を取り外すには

1. システムトレイにあるハードウェアアイコン を選択してください。

2. **'Safely remove Hardware'** ハードウェアの安全な取り外しというポップアップウィンドウが現れます。クリックして続けます。



図 8. ポップアップウィンドウ(Safely Remove Hardware)

3. **"The 'USB Mass Storage Device' device can now be safely removed from the system."**デバイスは安全にシステムから外すことができますというメッセージボックスが現れます。**T.sonic™**を取り外してください。



図 9. メッセージボックス(Safe to Remove Hardware)

Mac™ OS 10.0 以降から T.sonic™を取り外すには

T.sonic™のディスクアイコンをドラッグ&ドロップでゴミ箱に入れてください。それから USB ポートから **T.sonic™**を外してください。

Linux™ Kernel 2.4 以降から T.sonic™を取り外すには

umount /mnt/ T.sonic を実行し、USB ポートから **T.sonic™**を外してください。

ソフトウェアの設定

T.sonic™ 820 には以下の 3 つのソフトウェアが付属されています。

- トランセンドマルチメディアコンバーター
- スライドショーメーカー
- **T.sonic™**ユーティリティ

これらのプログラムを使用する前には、このセクションを参照ください。

ソフトウェア動作環境
(トランセンドマルチメディアコンバーター、スライドショーメーカー)

USB ポート搭載のデスクトップまたはノートブック

以下のオペレーションシステムのうちいずれか

- Windows® 2000
- Windows® XP

ソフトウェアのインストール

1. ソフトウェア CD を CD-ROM(オートラン対応)に挿入するとメインメニューウィンドウが表示されます。**T.sonic 820 Software** ボタンをクリックします。

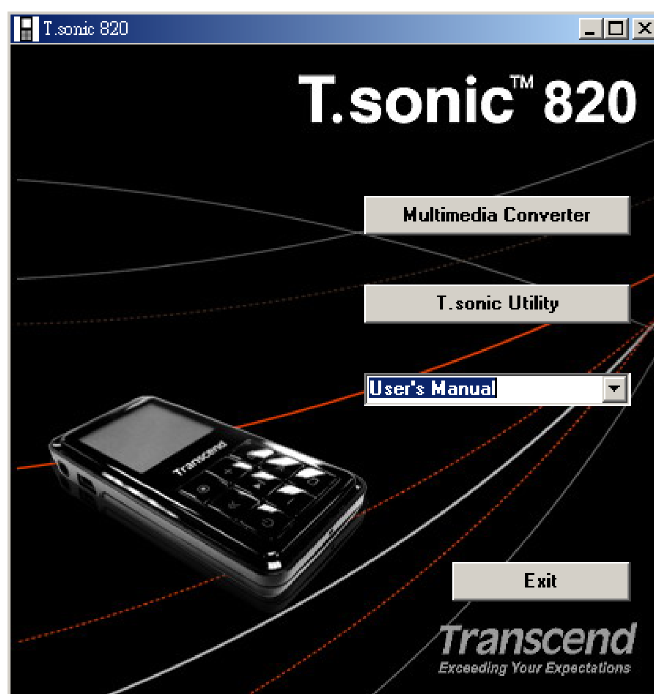


図 10. メインメニュー

2. お好みの言語を選択し、**OK** ボタンをクリックして続けます。



図 11. 言語の選択

3. The **T.sonic™**ソフトウェアのソフトウェア設定ウィンドウが表示されます。オプション(トランセンドマルチメディアコンバーター、スライドショーメーカー、**T.sonic™**ユーティリティ)を選択し、**Next”**ボタンをクリックするとソフトウェアプログラムのインストールが開始されます。

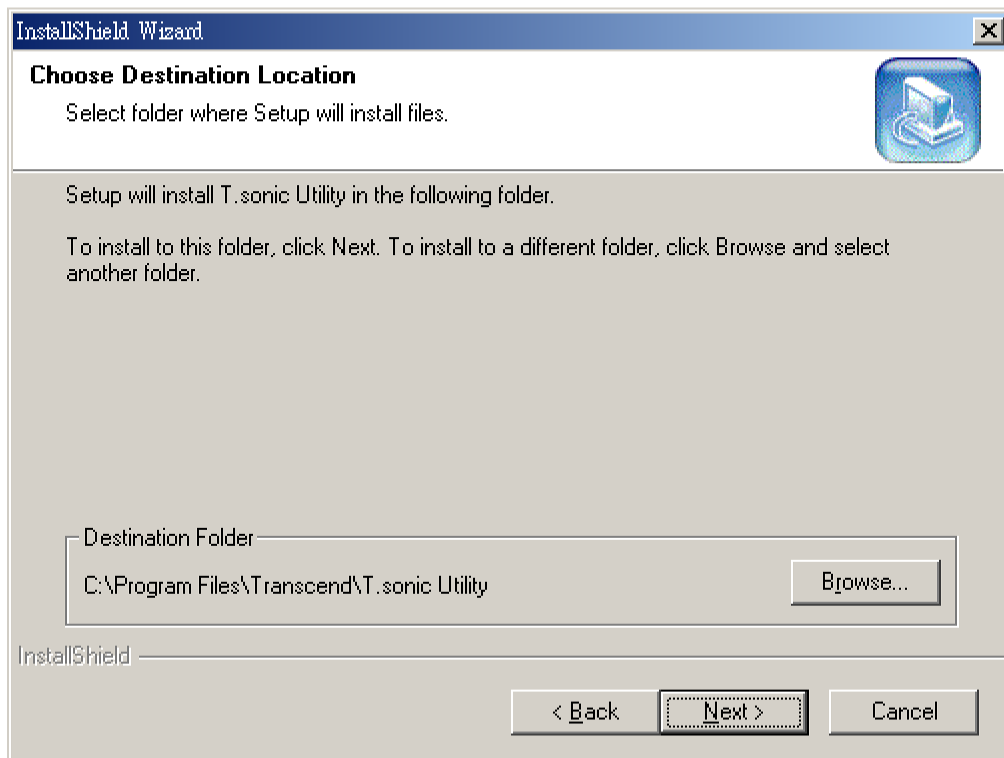


図 12. ソフトウェアプログラムの選択

4. インストール完了後、**Finish** ボタンをクリックしてウィザードを終了します。

トランセンドマルチメディアコンバーター

T.sonic™ 820 で 動画を楽しむ場合、動画ファイルを **T.sonic™ 820** に転送する前にトランセンドマルチメディアコンバーターを使用して**.mtv** フォーマットに変換してください。

❖ **T.sonic™ 820** の動画再生機能は**.mtv** フォーマットのみに対応しています。トランセンドマルチメディアコンバーターを使用して**.MPEG4**、**.DivX**、**.AVI**、**.xVID** フォーマットの動画ファイルを**.mtv** フォーマットに変換してください。

使用方法

1. トランセンドマルチメディアコンバーターを起動すると、**MTV Video Converter** メインウィンドウが表示されます、**Input Video** ボタンをクリックして続けます。

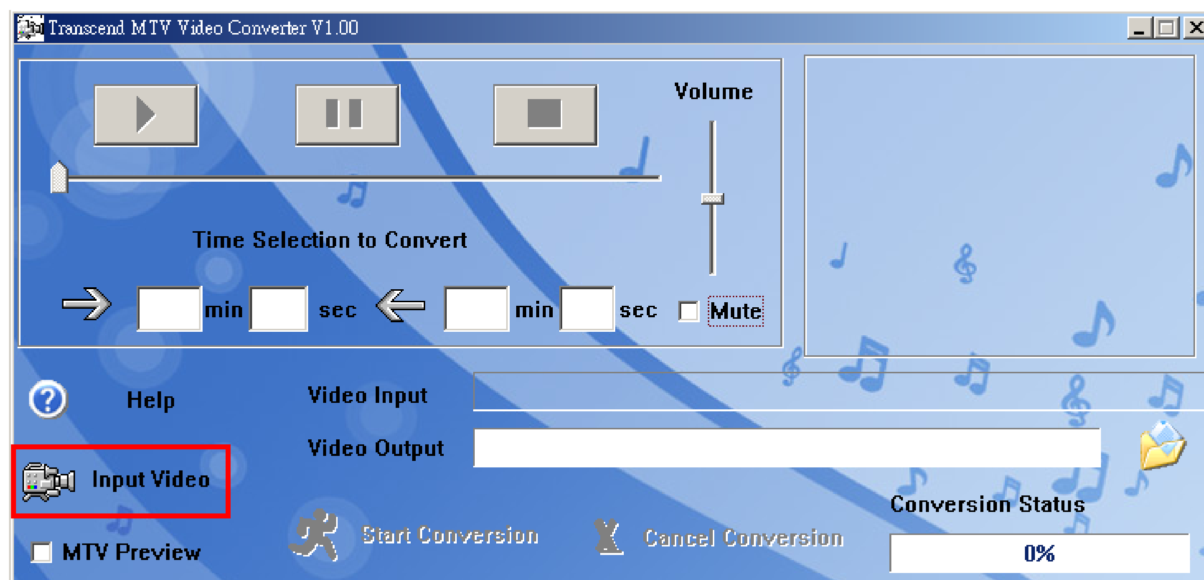


図 13. MTV Video Converter メインウィンドウ

2. **Open Video Input File** ウィンドウが表示されます。**.mtv** に変換する**.MPEG4**、**.DivX**、**.AVI**、**.xVID** ファイルを選択し、**Open**ボタンをクリックして続けます。

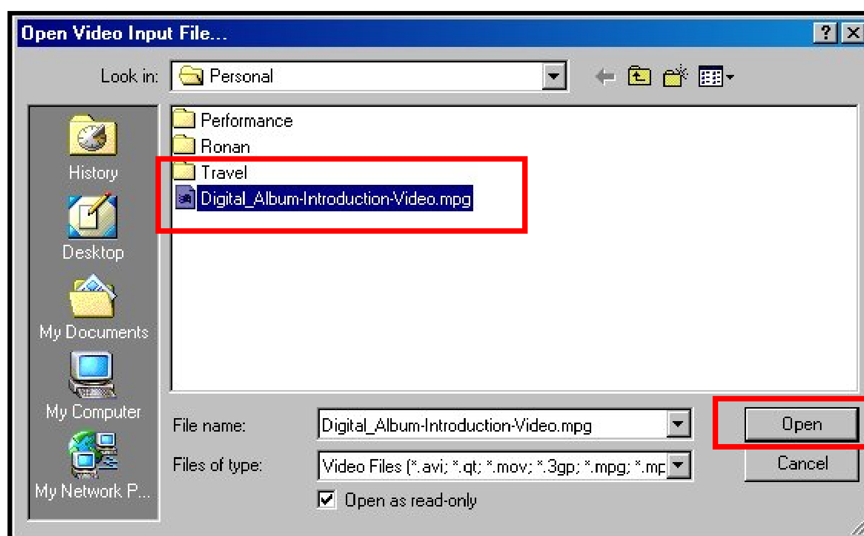


図 14. 動画ファイルの選択

3. 変換するファイルを選択後、**Video Output** ボタンをクリックして変換ファイルの保存先を選択します。

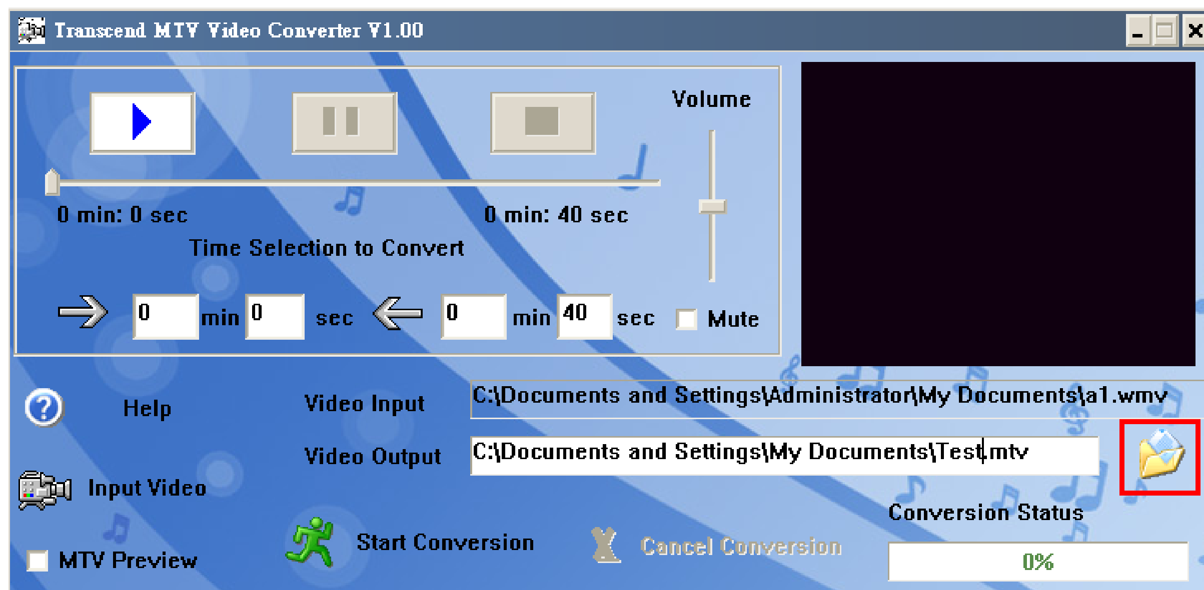


図 15. 変換ファイルの保存場所の設定

4. 保存先を選択後、**Start Conversion (変換開始)**ボタンをクリックすると変換を開始します。

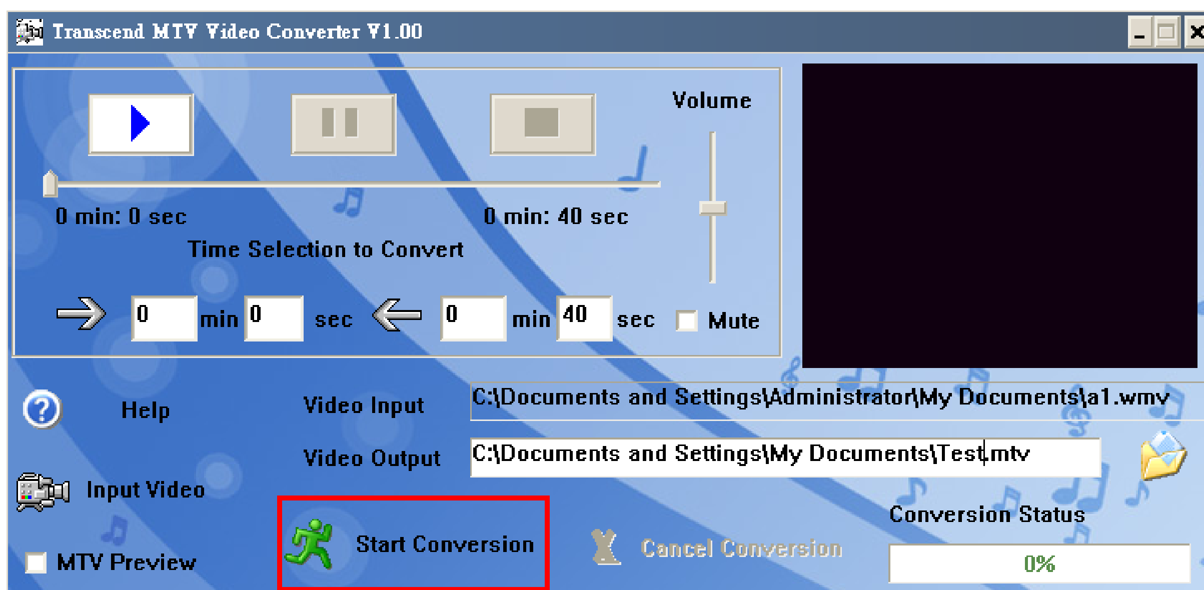


図 16. 変換の開始

5. 変換が完了すると Conversion Complete (変換の完了)メッセージが表示されます。OK ボタンをクリックすると変換処理を完了し、MTV Video Converter メインウィンドウに戻ります。



図 17. 変換の完了

トランセンドマルチメディアコンバーター

スライドショーメーカー

T.sonic™ 820 で スライドショーを楽しむ場合、画像ファイルを **T.sonic™ 820** に転送する前にスライドショーメーカーを使用して**.sls** フォーマットに変換してください。

❖ **T.sonic™ 820** のスライドショーは**.sls** フォーマットのみに対応しています。**スライドショーメーカー**を使用して**.JPG**、**.BMP**、**.GIF** フォーマットの画像ファイルを**.sls** フォーマットに変換してください。

使用方法

1. スライドショーメーカーを起動すると、**Slideshow Maker** メインウィンドウが表示されます、**Load Image** ボタンをクリックして続けます。

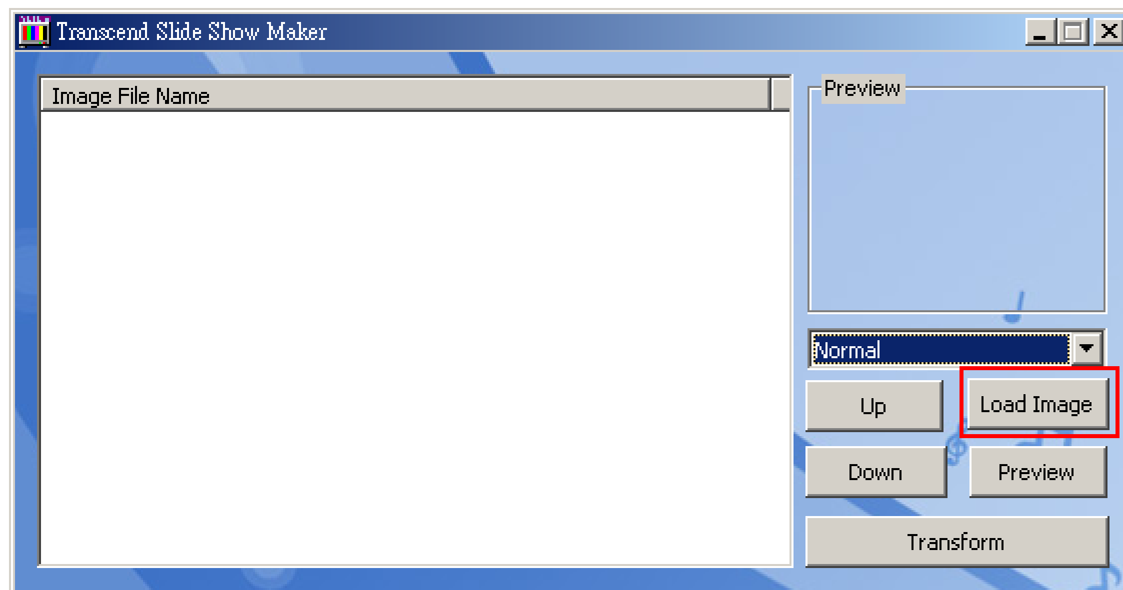


図 18. Slideshow Maker メインウィンドウ

2. **Open** ウィンドウが表示されます。**.sls** に変換する**.JPG**、**.BMP**、**.GIF** ファイルを選択し、**Open**ボタンをクリックして続けます。

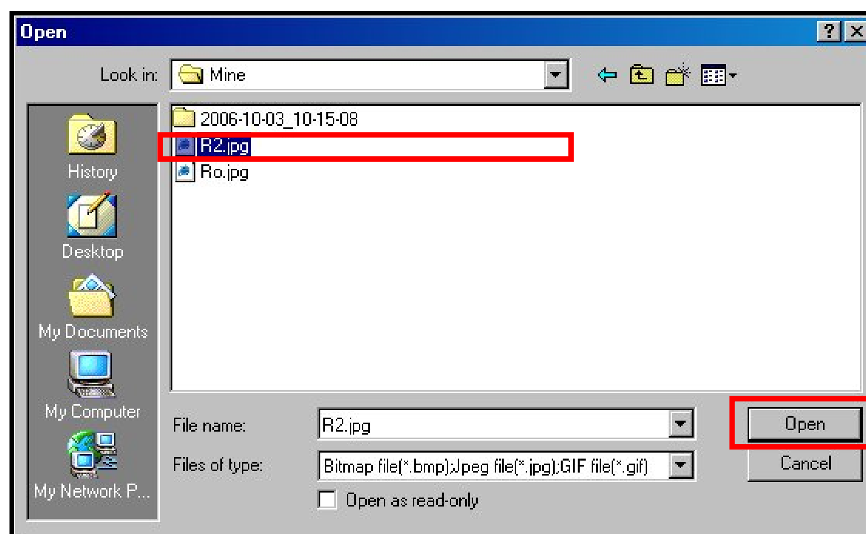


図 19. 画像ファイルの選択

スライドショーメーカー

3. プレビューパネルでは選択したファイルのプレビューを見ることができます。変換するファイルを選択後、**Transform (変換)**ボタンをクリックして続けます。

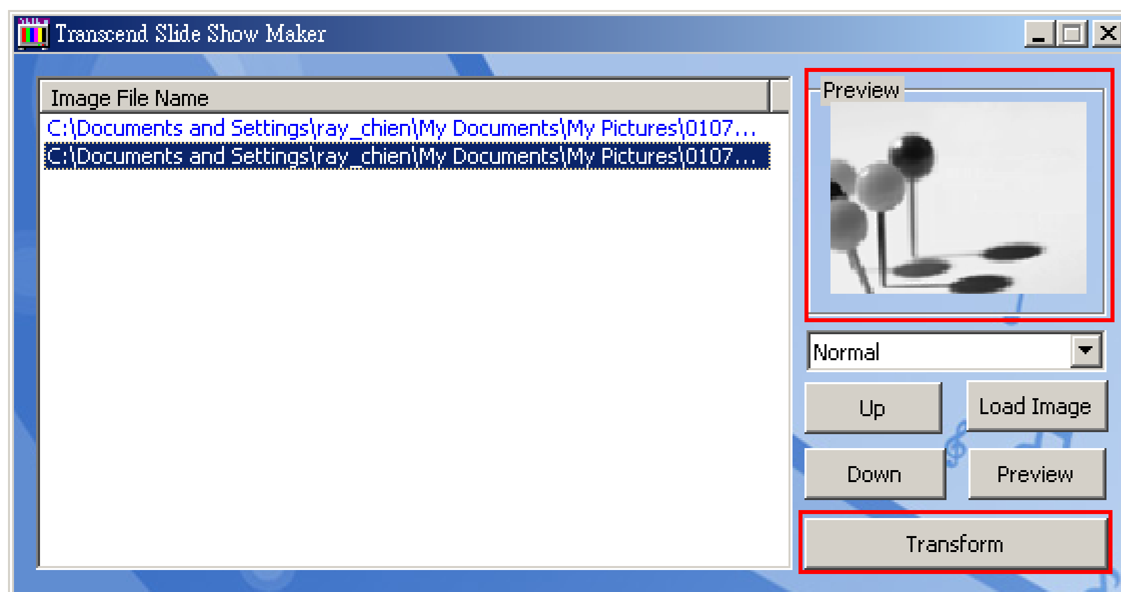


図 20. プレビューと変換

4. **Save As** ウィンドウが表示されます。変換ファイルの保存先を選択し、**Save** ボタンをクリックすると**.sls** ファイルを **sls** フォルダに保存します。

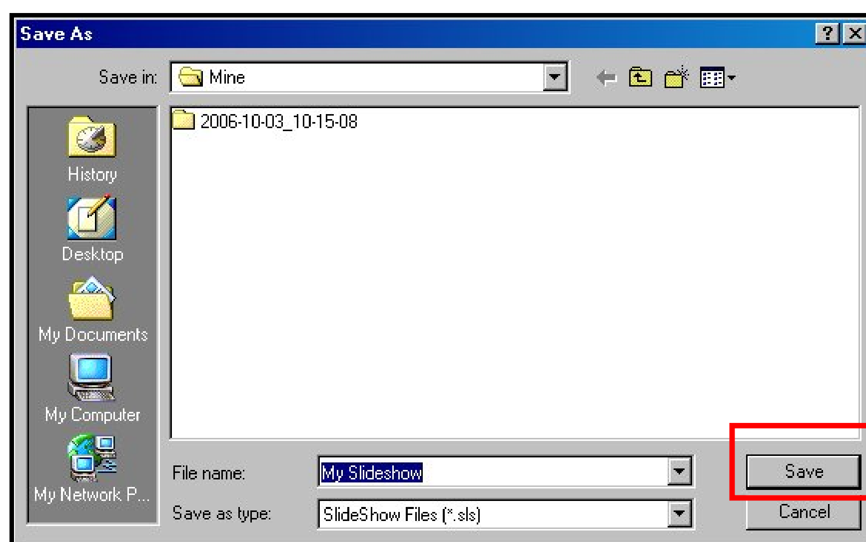


図 21. 変換ファイルの保存場所の設定

5. 変換が完了すると **Transfer Complete (変換の完了)**メッセージが表示されます。**OK** ボタンをクリックすると変換処理を完了し、**Slideshow Maker**メインウィンドウに戻ります。

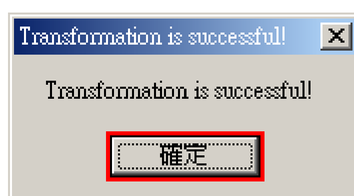


図 22. 変換の完了

スライドショーメーカー

T.sonic™ユーティリティ

T.sonic™ユーティリティを使用すると以下の機能が利用できます。

- **PC** ロック機能
- パーティション&セキュリティ機能

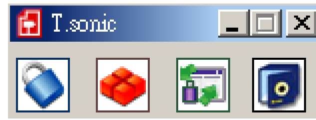


図 23. T.sonic Utility Menu

❖ **T.sonic™**ユーティリティは Mac™や Linux™の OS には対応していません。

❖ **T.sonic™**ユーティリティを利用するためには、Windows® OS に**管理者**としてログインしている必要があります。

T.sonic™ユーティリティのインストール

1. ソフトウェア設定ウィンドウで **T.sonic™**ユーティリティを選択すると、**インストールシールドウィザード**が表示されます。**Next** ボタンをクリックして続けます。インストールシールドウィザードが **T.sonic™**ユーティリティのインストール手順をガイドします。

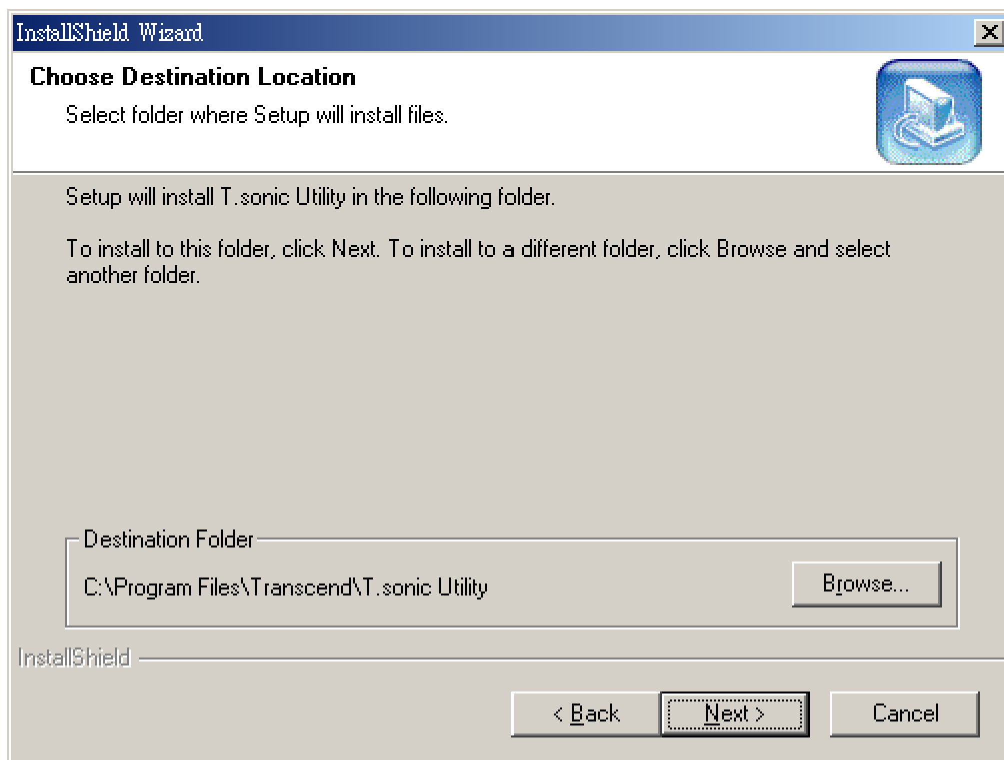


図 24. T.sonic ユーティリティのインストールシールドウィザード

T.sonic ユーティリティ

2. **T.sonic™**ユーティリティのインストールが完了したら、**Finish** ボタンをクリックしてウィザードを終了します。

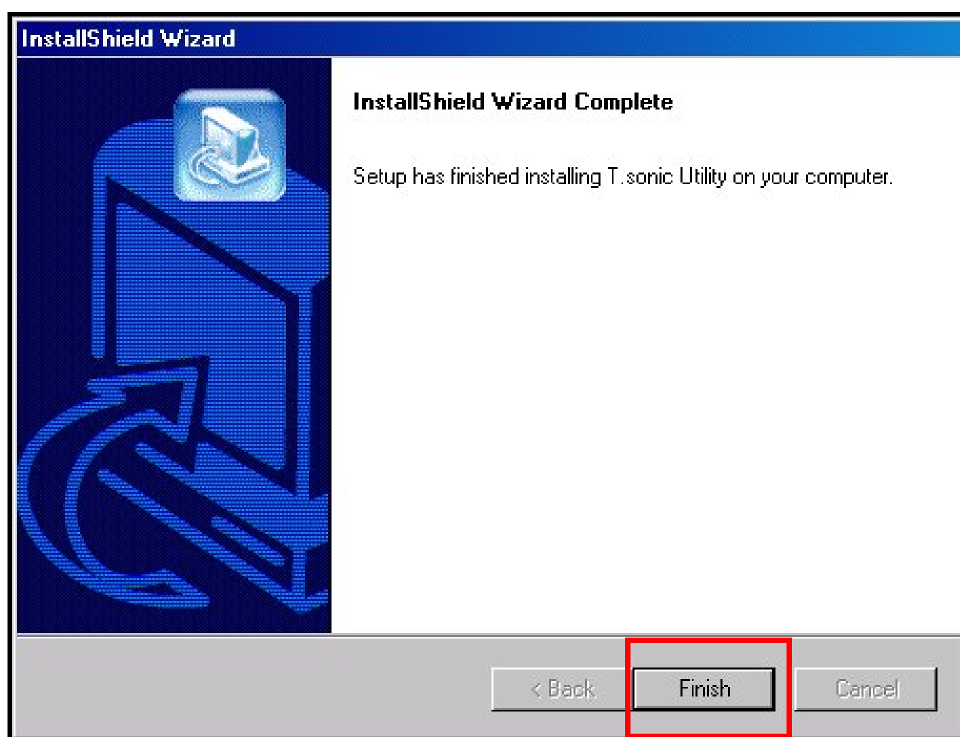


図 25. インストールの完了

3. **T.sonic™**ユーティリティは **Start > Programs >> T.sonic Utility** を実行して起動させます。

PC ロック機能

PC ロック機能を設定すると、**T.sonic™**をお使いのコンピュータのキーとして使用でき、権限のないユーザーからコンピュータを保護することができます。

❖ PC ロック機能は Windows 98SE 以前の OS や Mac™、Linux™の OS には対応していません。

❖ PC ロック機能を利用するためには、Windows® OS に**管理者**としてログインしている必要があります。

Windows® Me/2000/XP での PC ロック機能の設定

1. **T.sonic™**ユーティリティウィンドウの **PC** ロックボタンをクリックします。

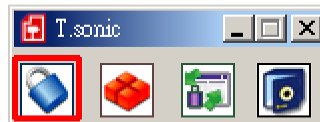


図 26. PC ロック

2. **PC** ロックウィンドウが表示されます。**"Enable PC-Lock (PC ロック有効)"**の項目にチェックを入れます。

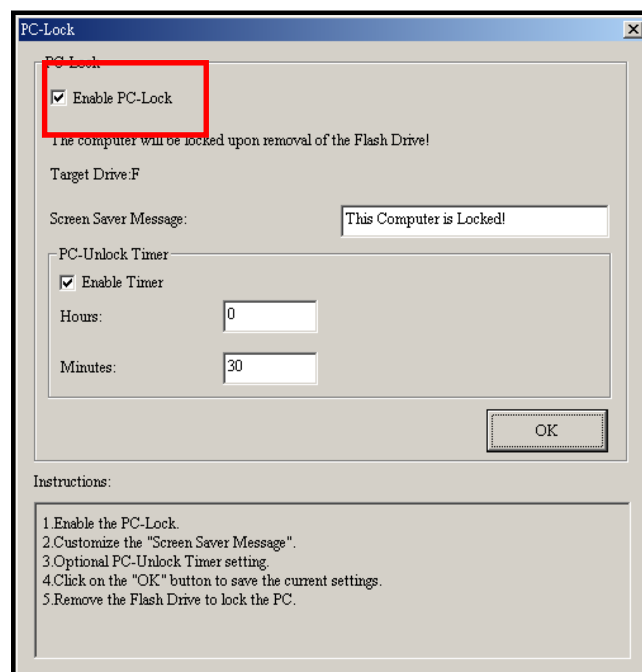


図 27. PC ロックの設定

3. “Enable PC-Lock (PC ロック有効)”にチェックを入れた後、コンピュータがロックされている間にスクリーンに表示されるテキストを入力します。

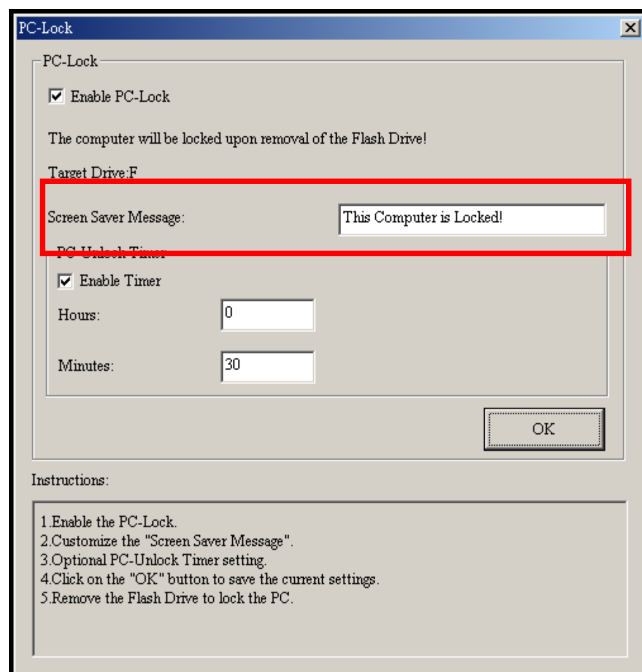


図 28. スクリーンセーバーテキスト

4. コンピュータのロックを自動的に解除するタイマーを設定する場合、**“Enable Timer (タイマー有効)”**の項目にチェックを入れます。**Hours(時間)**と **Minutes(分)**を入力して、ロックする時間を設定します。設定時間が経過するとコンピュータのロックは自動的に解除されます。

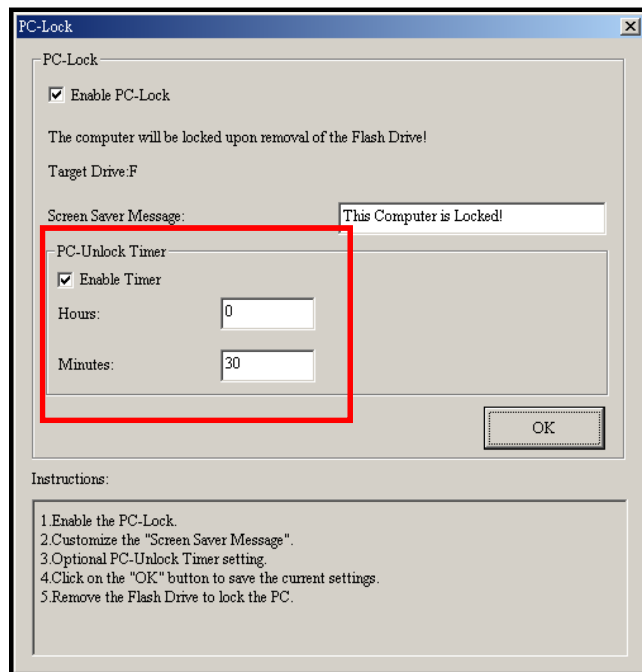


図 29. PC ロックタイマー

5. **OK** ボタンをクリックすると PC ロックの設定が有効になります。

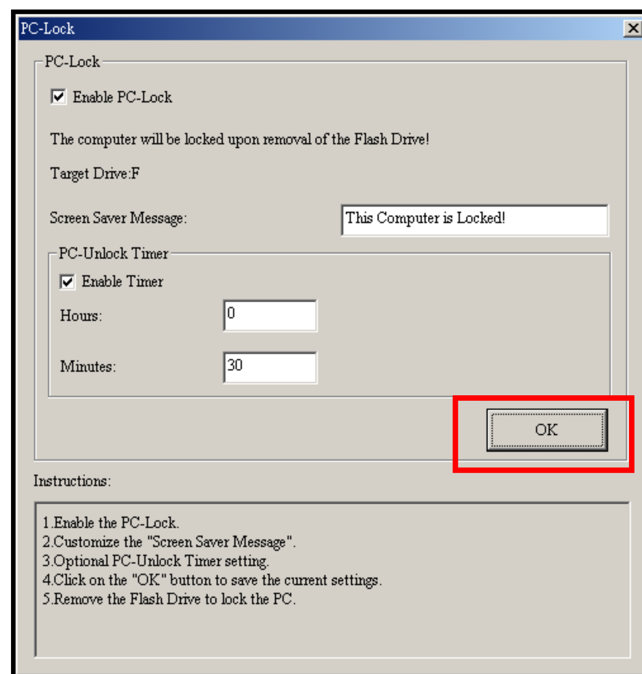


図 30. PC ロックの適用

コンピュータのロック

PC ロック機能を設定後、**T.sonic™**をコンピュータから取り外すとご使用のコンピュータはロックされます。コンピュータがロックされている間、設定した**テキスト**がスクリーンセーバーとして表示されます。

コンピュータのロック解除

コンピュータのロックを解除する場合は、**T.sonic™**をコンピュータに取り付けてください。ロック状態を表示する画面が消え、コンピュータを自由に使用することが可能になります。尚、設定したロック時間が経過した場合、コンピュータのロックは自動的に解除されます。

パーティション&セキュリティ機能

T.sonic™にデータを保護するためのパスワード付プライベートディスクエリアを設定できます。**T.sonic™**のディスクをパブリックエリアとプライベートエリアに分け、プライベートエリアへアクセスするにはパスワードを使って **T.sonic™**にログインする必要があります。

- ❖ パーティション&セキュリティ機能は Windows 98SE 以前の OS や Mac™、Linux™の OS には対応していません。
- ❖ パーティション&セキュリティ機能を利用するためには、Windows® OS に**管理者**としてログインしている必要があります。

Windows® Me/2000/XP でのパーティション&セキュリティ機能の設定

1. **T.sonic™**ユーティリティウィンドウのパーティションボタンをクリックします。

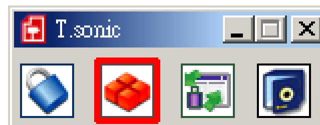


図 33. パーティション

2. パーティションウィンドウが表示されます。ディスクパーティションバーをスライドさせ **T.sonic™** のパブリックディスクエリアとプライベートディスクエリアがお好みの容量になるように調整します。

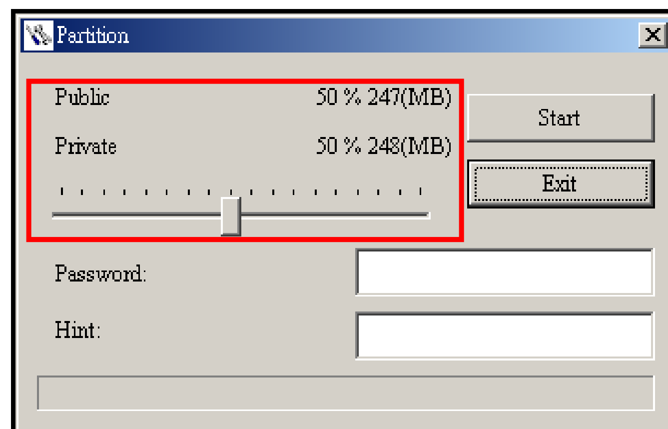


図 34. パーティションの作成

3. プライベートエリアにアクセスするための **Password (**パスワード**)**と **Password hint (**パスワードのヒント**)**を入力します。**Start** ボタンをクリックすると、パーティション&セキュリティ機能の設定を完了します。

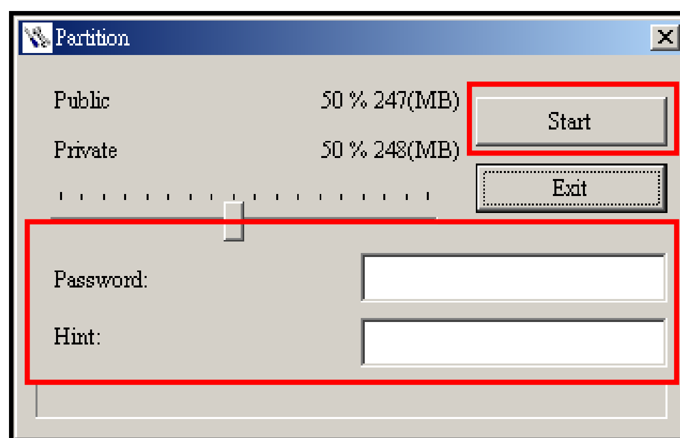


図 35. パスワードとヒント

プライベートエリアへのアクセス

1. **T.sonic™**ユーティリティウィンドウの**ログイン/ログアウト**ボタンをクリックします。

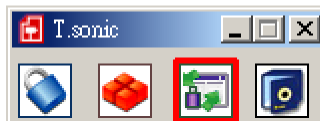


図 36. ログイン

2. **ログイン/ログアウト**ウィンドウが表示されます。**パスワード**を入力し、**ログイン**ボタンをクリックして**T.sonic™**のプライベートエリアにアクセスします。

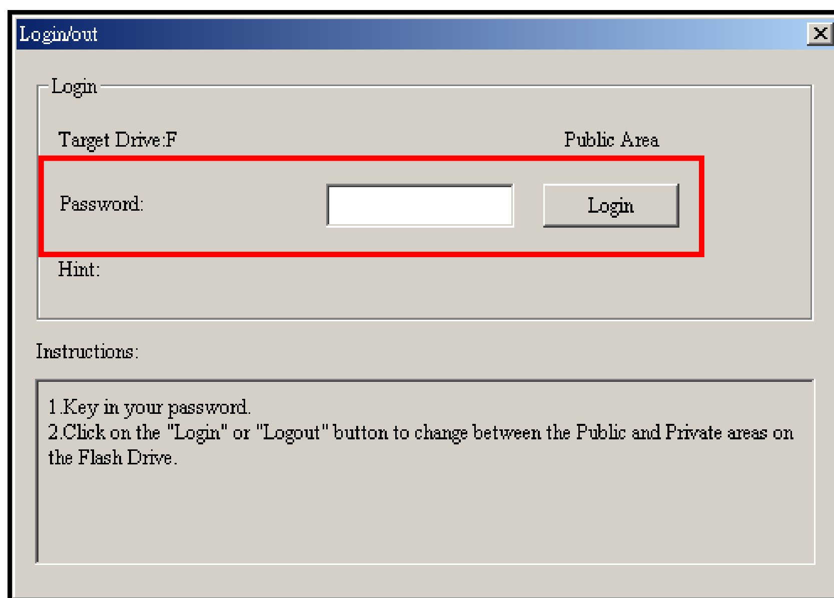


図 37. パスワードの入力

3. プライベートエリアから退出する場合、**T.sonic™**とコンピュータがデータ転送をしていないことを確認し、**ログアウト**ボタンをクリックして**プライベートエリア**からログアウトします。

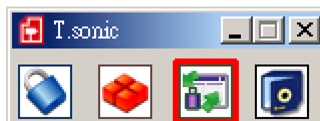


図 38. ログアウト

パスワードの変更

1. **T.sonic™**ユーティリティウィンドウの**パスワード**ボタンをクリックします。

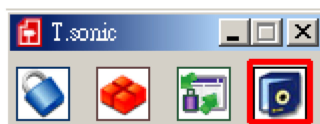


図 39. パスワード

2. **New Password (**新しいパスワード**)**ウィンドウが表示されます。**Password (**パスワード**)**、**New Password (**新しいパスワード**)**、**Confirm Password (**パスワードの確認**)**、**New Password Hint (**新しいパスワードのヒント**)**を入力します。**OK** ボタンをクリックして新しいパスワードの設定を完了します。

New Password

Password:

New Password:

Confirm:

New Hint:

OK

図 40. パスワードの変更

パスワードを忘れたときには

パスワードを忘れてしまった場合、パスワードのヒントを参照することができます。パスワードのヒントを参照してもパスワードを思い出すことができない場合は、パーティション機能を起動して **T.sonic™**に再度パーティションを作成し直してください。但し、この場合、"プライベートエリア"のデータはすべて失われることになります。"パブリックエリア"のデータについてはバックアップをとることができますが、"プライベートエリア"のデータの復旧はできません。



注意! ディスクの再パーティションを行うとプライベートエリアのすべてのデータは消去されます。

トラブルシューティング

もし問題が生じた場合は、修理に出す前にまず下記の項目をチェックしてください。下記の項目を試しても改善されなかった場合は、販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ウェブサイトでも FAQ とサポート情報を公開しております。

Windows®でソフトウェア CD がオートランになりません

コントロールパネルにある**デバイスマネージャー**をクリックして CD-ROM ドライブの**オートラン機能**を有効にしてください。他の方法としてはソフトウェア CD から **T.sonic.EXE** をマニュアルで実行することができます。

OS が T.sonic™を認識しません

下記の項目をチェックしてください。

1. **T.sonic™**が正しく USB ポートに接続されていますか。接続されていない場合は、一度取り外してから再度接続してください。
2. **T.sonic™**が Mac™キーボードに接続されていませんか。接続されている場合は、キーボードから取り外して Mac™デスクトップの USB ポートに接続してください。
3. その USB ポートは利用可能ですか。利用可能でない場合は、ご使用のコンピュータ(又はマザーボード)のマニュアルを参照して利用可能な状態にしてください。

電源オンができません

下記の項目をチェックしてください。

1. **T.sonic™**がコンピュータに接続中は電源が入りません。接続されている場合は、取り外してください。
2. ロックスイッチが有効になってはいませんか? その場合は、ロックを解除してください。
3. **T.sonic™**に十分なバッテリーが残っていますか? バッテリーがない場合は、充電してください。

T.sonic™へ MP3/WMA/WMA-DRM10/WAV ファイルをダウンロードできません

ドライバをアンインストールしてから再インストールしてください。それでも直らない場合は、リカバリー機能を参照して **T.sonic™**をリセットし、初期状態に戻してください。

ボタンを押しても動きません

ロックスイッチが有効になってはいませんか? その場合は、ロックを解除してください。

トラックを再生して聴けません

1. **T.sonic™**に音楽ファイルがありますか。ない場合は、まず始めにコンピュータまたはインターネットから音楽ファイルをダウンロードする必要があります。(32Kbps～320Kbps のレートで圧縮された Mpeg I レイヤー3 と WMA ファイルのみに対応しています。)
2. イヤホンは正しくイヤホンジャックに接続されていますか。接続し直して確認ください。
3. 音量は適当ですか。そうでない場合は、音量を調節してください。

トラック名がスクリーンに正しく表示されません

1. **T.sonic™**では英語が初期言語に設定されています。始めに言語設定を行ってください。
2. ID3 タグの情報が優先的にディスプレイに表示されます。ID3 タグは Windows Media Player や Winamp 等を使用して修正できます。
3. ID3 タグが空の場合、ファイル名がディスプレイに表示されます。

録音モードが開きません

録音ファイルを保護するために、**T.sonic™**は 2 つのメカニズムを備えています。

1. バッテリー残量が 10%以下になると、**録音**モードを開くことはできません。
2. 録音中にバッテリー残量が **10%**以下になると **T.sonic™**は自動的に録音を保存します。

トラックの再生サウンドが断続的にとぎれます

イヤホンをジャックに接続し直して、正しく接続されているか確認してください。

T.sonic™が自動的にオフします

T.sonic™にはスリープモードがあります。**T.sonic™**が、特定時間(15 分、30 分、60 分)アイドリング状態にあると**パワーセーブ機能**が起動し、自動的に電源がオフになります。**設定**の"スリープ"の項目を参照して、設定を変更してください。

T.sonic™が正常に動きません

T.sonic™が動作しなくなった場合、電源のオン/オフを何度か試してください。また、**リセット**ボタン RESET ● を 3 秒から 5 秒押すことで通常に戻ることもあります。それでも問題が解決しない場合、リカバリー機能で **T.sonic™**を初期設定に戻してください。

T.sonic™へコピーしたファイルが見つけられません

再度ファイルをコピーし、コピーが完了後に、"**T.sonic™**の正しい取り外し方"を参照して **T.sonic™**を取り外してください。

削除したはずのファイルがまだあります

再度ファイルを削除し、削除が完了後に、"**T.sonic™**の正しい取り外し方"を参照して **T.sonic™**を取り外してください。

T.sonic™が OS から自動的に外されます

この問題は、**T.sonic™**がコンピュータの USB ポートに接続されているときに**音量ダウン**ボタン − を押した場合に起こります。**T.sonic™**を USB ポートから外し、接続し直してください。

Windows®でフォーマットした後 T.sonic™が使用できません

Windows®の"クイックフォーマット"や"フルフォーマット"を使ってフォーマットをすると **T.sonic™**のデフォルトフォーマットを壊してしまいます。デフォルトフォーマットを取り戻すには以下のリンクを参照し、**T.sonic™**のファームウェアをダウンロードし、アップデートしてください。

http://www.transcend.co.jp

Windows Media Player のバージョンが分かりません

1. Windows Media Player を起動させます。
2. ヘルプメニューをクリックし、**Windows Media Player 情報**の項目を選択します。
3. Windows Media Player のバージョンが画面に表示されます。

DRM 対応の音楽ファイルが再生できません

1. **T.sonic™ 820** は WMA-DRM10 フォーマットの音楽ファイルにのみ対応しています。そのファイルは WMA-DRM10 フォーマットですか。

2. Windows Media Player 10 を使用して WMA-DRM10 ファイルの転送や **T.sonic™ 820** の **MTP** フォルダとの同期を行う必要があります。

動画ファイルが再生できません

T.sonic™ 820 は**.MTV** フォーマットのみに対応しています。トランセンドマルチメディアコンバーターの項目を参照して動画ファイルを MTV フォーマットに変換してください。

トランセンドマルチメディアコンバーターで動画ファイルを変換できません

DirectX 9.0 以降をコンピュータにダウンロードし、変換できない動画ファイルを再生します。再生ができない場合、その動画のビデオコーデックにコンピュータが対応していないため、トランセンドマルチメディアコンバーターで変換ができません。

画像ファイルが再生できません

T.sonic™ 820 は**.JPG**または**.GIF** フォーマットのみに対応しています。画像ファイルのフォーマットを確認してください。

E ブックファイルが再生できません

T.sonic™ 820 は**.TET** フォーマットのみに対応しています。E ブックファイルのフォーマットを確認してください。

歌詞表示機能を有効にしても歌詞が表示されません

歌詞を表示させるには Winamp 等の歌詞表示に対応したソフトウェアが別途必要となります。
詳細は下記リンクを参照ください。
http://www.transcend.co.jp/support/faq/JP/FAQ_510_jp.htm

仕様

● サイズ**(L x W x H):**	82 mm × 40.5 mm × 12 mm
● 重量**:**	45g (リチウムイオンバッテリーを含む)
● 音楽フォーマット**:**	MP3、WMA、WMA-DRM10
● 動画フォーマット**:**	MTV
● 画像フォーマット**:**	JPG、BMP
● 録音フォーマット**:**	ADPCM (WAV)
● 再生可能時間**:**	最大 15 時間の連続音楽再生(フル充電した場合)
● 圧縮率**:**	32Kbps～320Kbps
● データ保持期間**:**	最大 10 年
● 消去サイクル**:**	100,000 回
● **SN** 比**:**	90dB 以上
● 認証**:**	CE、FCC、BSMI
● 保証**:**	2 年(バッテリーは 6 ヶ月)

ご注文情報

製品名	*容量*	*製品型番*
T.sonic™ 820 MP3 プレーヤー	2GB	TS2GMP820
T.sonic™ 820 MP3 プレーヤー	4GB	TS4GMP820

保証規定

“枠を越えて、更に上に”はトランセンドのカスタマーサービスにおける姿勢です。私たちは常に自身を業界基準よりも高い位置に置くように心がけています。それはお客様の満足を得られるための私たちの義務だと思っております。

トランセンドの製品は全て保証付きで、不良品のないようにテストを受け、公示している仕様に準拠していることを確認しています。トランセンドの **T.sonic™**が、推奨された環境において通常の使用をしている間に、製造や部品の不備のせいで不具合が起きた場合、保証期間内であれば修理もしくは同等の製品との交換を行います。ここでは保証の条件と制限事項について述べます。

保証期間: トランセンドの **T.sonic™**の保証は、購入日から 2 年間(バッテリーは 6 ヶ月)有効です。保証サービスを受けるには、購入日を証明するものが必要となります。トランセンドは製品を検査し、修理可能であるか、交換が適当であるかどうかを査定します。修理か交換の決定はトランセンドにお任せください。トランセンドでは該当製品と機能的に同等である製品と交換する権利も保有させていただきます。

制限事項: 本保証は、事故、不正扱い、酷使、不正な取付け、改造、天災、間違った使用、電気的問題などによる不良には適応いたしません。また、製品ケースの取り外し、品質シールや製品シリアル番号を含めた製品表面の物理的ダメージ、誤用、改変が認められる製品の保証はいたしません。トランセンドは、ハードディスクやフラッシュメモリデバイスの故障によるいかなるデータの損失について復旧の責任を負いません。トランセンドの **T.sonic™**は業界基準に沿っていることが確認されたデバイスと一緒にご使用してください。トランセンドはサードパーティのデバイスとの併用で生じたトランセンド製品不具合によるダメージについての責任は負わないこととします。また、後発的、間接的又は偶発的なダメージや、負債、投資の損失、データの損失によるビジネス弊害などについても一切の責任を負わないこととします。また、サードパーティの装置のダメージや故障については、その可能性を認知していたとしても責任を負いません。

おねがい

- 故障品の修理/交換の受け付けは弊社に送付いただくことで受け付けております。返送時は弊社負担ですが送られるときは送料をご負担ください。
- 本製品は将来改良の為予告なく変更する場合があります。
- 本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問合せください。

保証サービスを円滑に行うために、購入日から 30 日以内に製品登録を行ってください。

http://www.transcendusa.com/registration

❖ ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。

Transcend
Exceeding Your Expectations

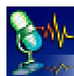
Transcend Information, Inc.

www.transcendusa.com

アイコン

 **音楽:** MP3/WMA/WMA-DRM10 ファイルにアクセスします。

 **ラジオ:** FM ラジオを聴いたり、ラジオチャンネルの選択、保存、録音ができます。

 **録音:** 録音したファイルにアクセスできます。

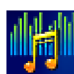
 **動画:** MTV ファイルにアクセスします。

 **画像:** JPG/BMP ファイルにアクセスします。

 **E ブック:** TXT ファイルにアクセスします。

 **設定:** T.sonic™の設定をカスタマイズできます。

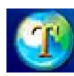
 **リピート:** リピートモードを設定します。

 **イコライザー:** イコライザーモードを設定します。

 **スクリーンセーバー:** スクリーンセーバーを設定します。

 **スリープ:** T.sonic™の電源をオフにするタイマーを設定します。

 **コントラスト:** 有機 EL ディスプレイの明るさを設定します。

 **言語:** 表示言語を設定します。(初期設定: 英語)

 **歌詞表示:** トラック再生中の歌詞表示のオン/オフを設定します。

 **再生速度:** ファイルの再生速度を調整します。

 **FM リセット:** 保存したラジオチャンネルをリセットします。

 **MTP メディア転送モード:** WMA-DRM10 ファイルを再生する場合に選択します。Windows Media Player 10 を使用してファイルの転送、同期を行います。

 **プレイリスト管理:** プレイリストの管理をします。

 **スライドショータイマー:** スライドショーのタイマーを設定します。

 **RTC:** ローカル時刻と日付を設定します。

 **世界時計:** 世界のタイムゾーンを設定します。

 **録音品質:** 内蔵マイクを使用した場合の録音品質レベルを設定します。

 **録音デバイス:** 録音デバイス(内蔵マイク、ライン入力[外付けマイク、CD プレーヤー])を設定します。

 **VAD:** 録音時の音声感知(Voice Active Detector)機能を設定します。

 **情報:** ファームウェアのバージョンや空きメモリ容量の確認ができます。

用語

デジタル著作権管理に対応したオーディオファイルの圧縮技術